

**平成26年度調査結果 及び
平成28年度調査結果 に基づく
江別市民の日常の移動実態に関するとりまとめ**

～補足資料～

江別市民の日常の移動実態(H26・H28調査結果より)

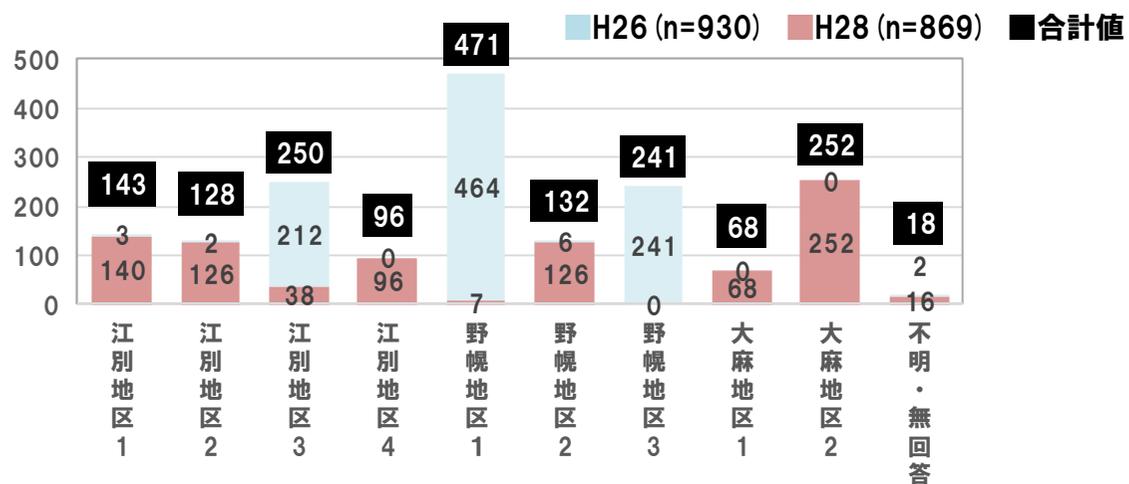
調査概要

回収状況

	H26調査	H28調査
対象世帯数	1,500世帯	1,525世帯
配布数	3,000 票	2,849 票
回収数	930 票	869 票
世帯回収率	35.0 %	36.9 %
回収率	31.0 %	30.5 %

回答者の属性

①居住地(地区名)



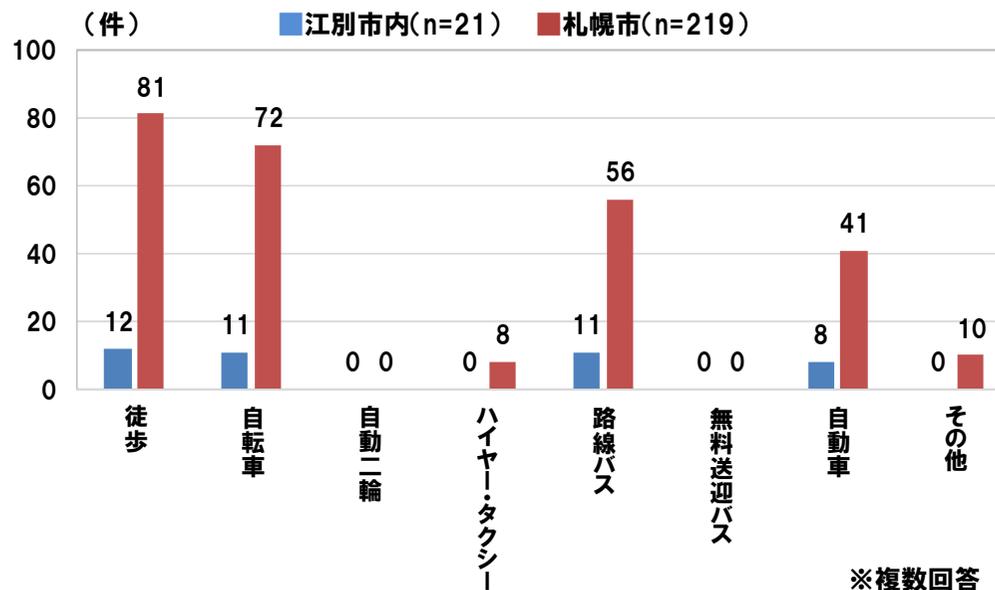
(1)通勤・通学

通勤・通学目的の移動で、移動手段としてJRを選択している場合に、JRと合わせて選択されている移動手段について、目的地別に整理した。

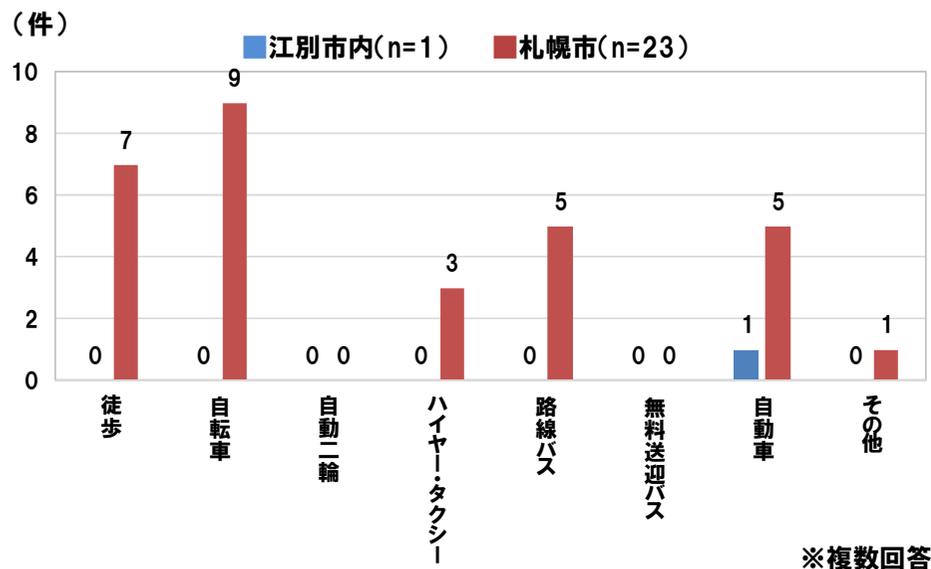
JR駅へのアクセス手段(H26・H28調査結果より)

(1)通勤・通学

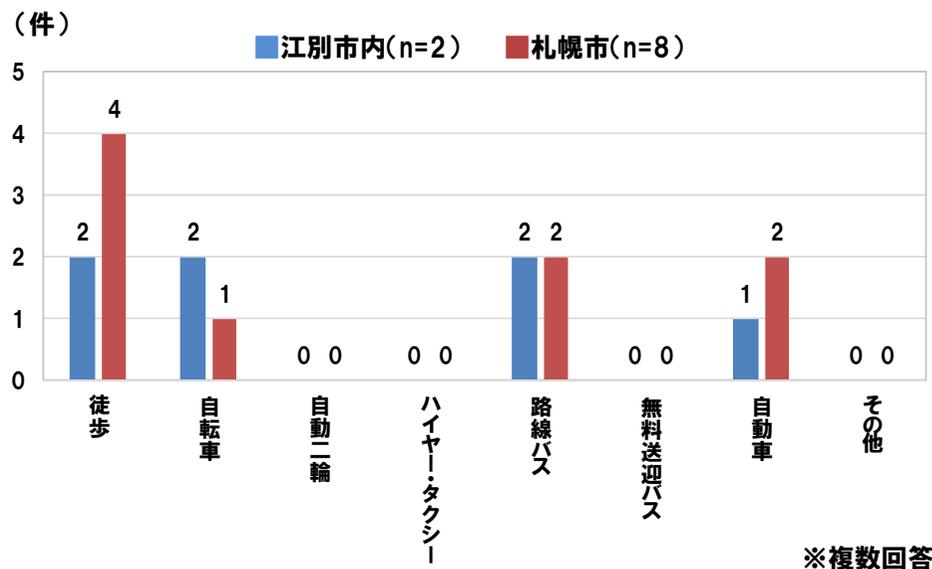
全体



江別地区1



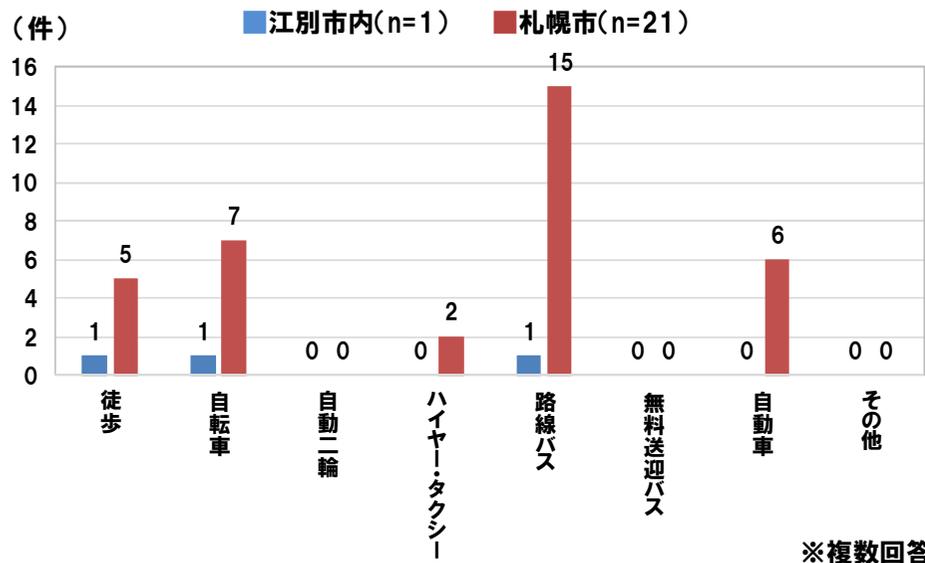
江別地区2



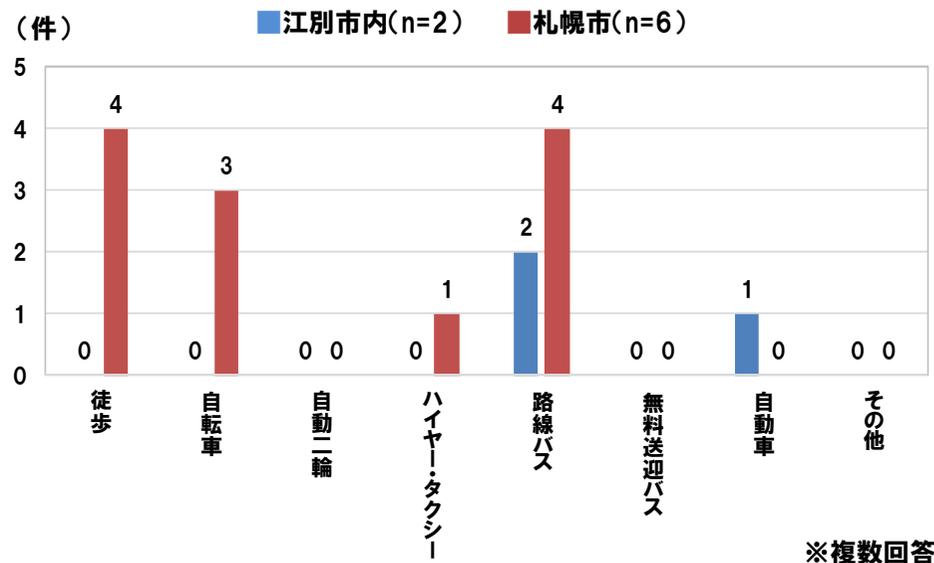
JR駅へのアクセス手段(H26・H28調査結果より)

(1)通勤・通学

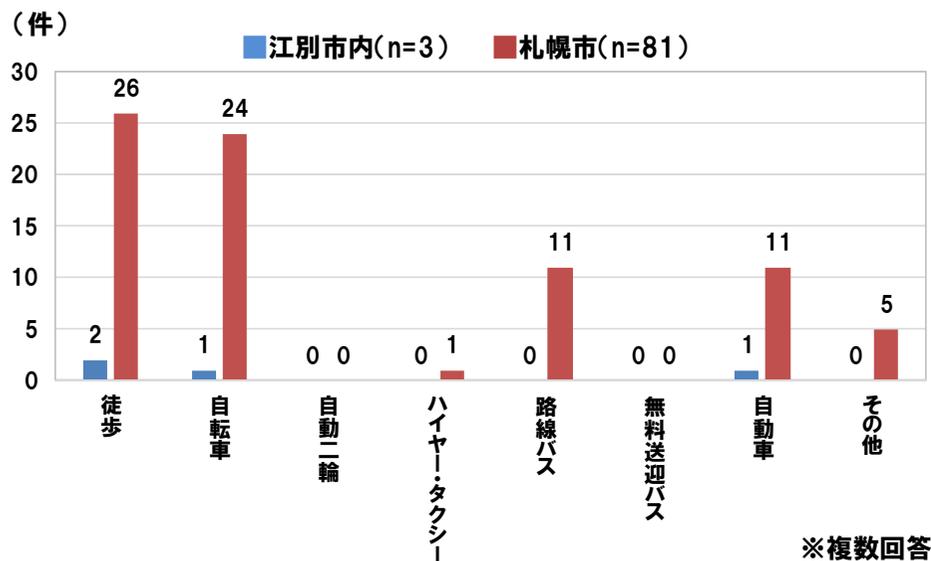
江別地区3



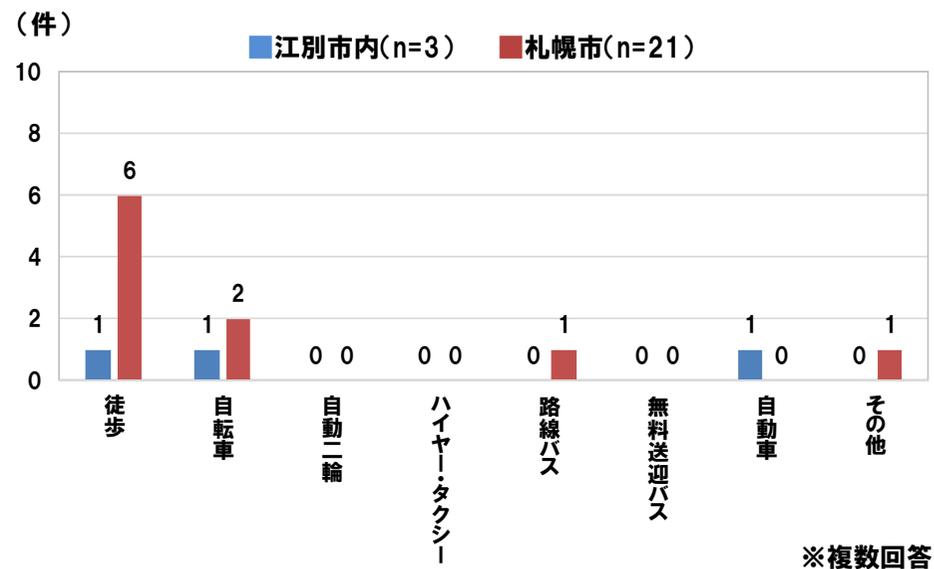
江別地区4



野幌地区1



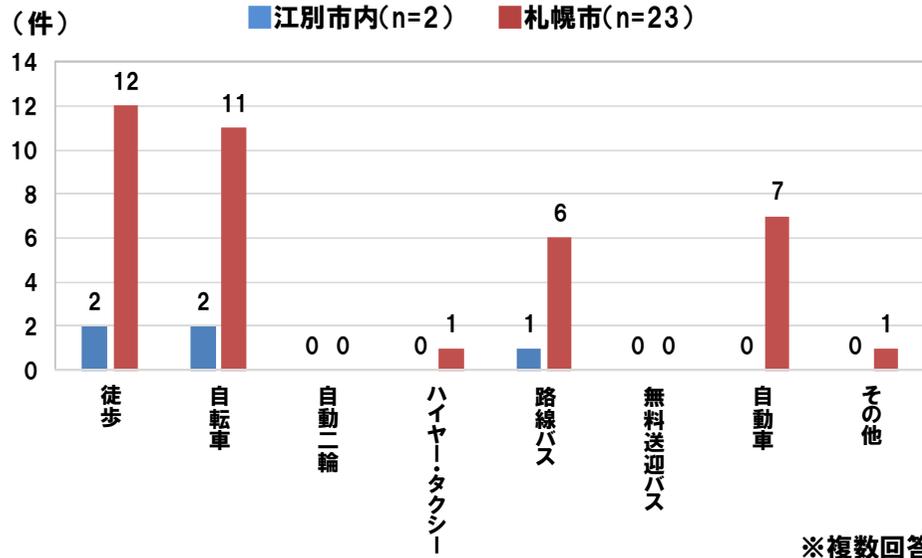
野幌地区2



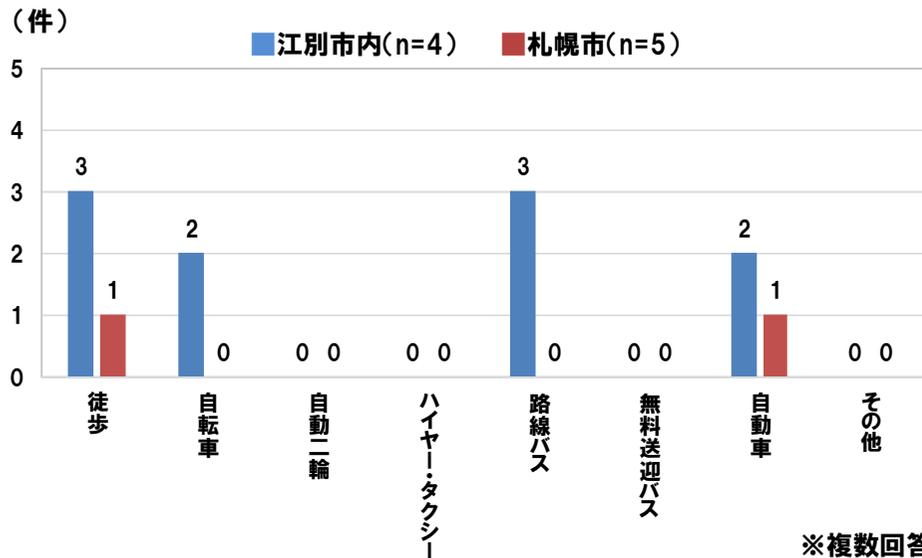
JR駅へのアクセス手段(H26・H28調査結果より)

(1)通勤・通学

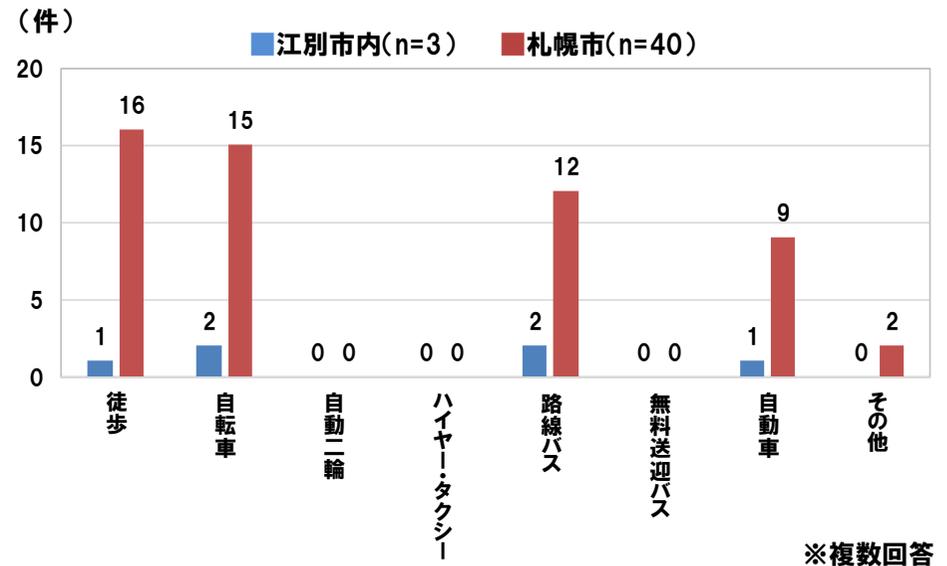
野幌地区3



大麻地区1



大麻地区2

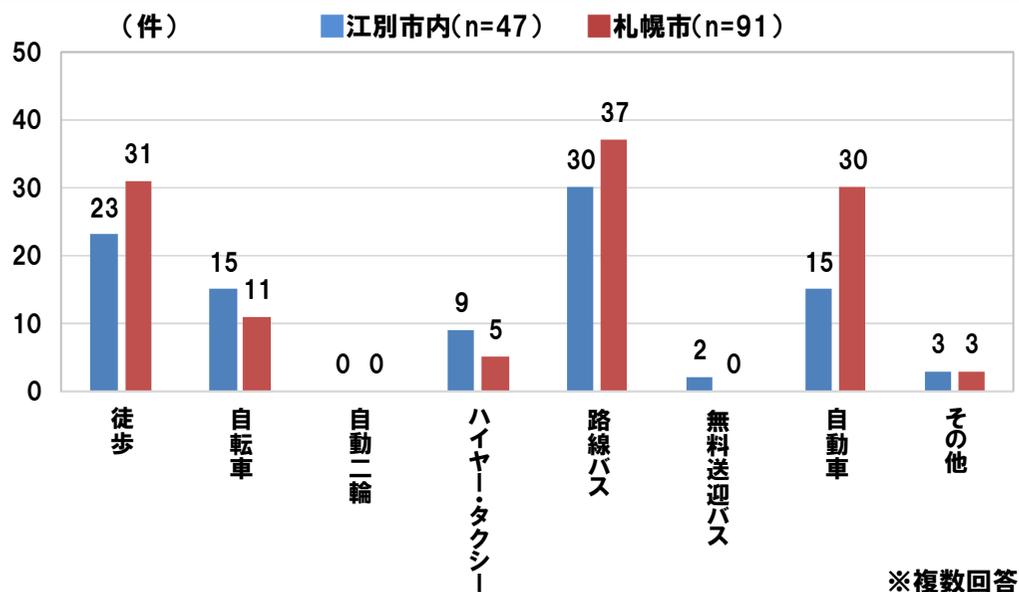


(2)通院

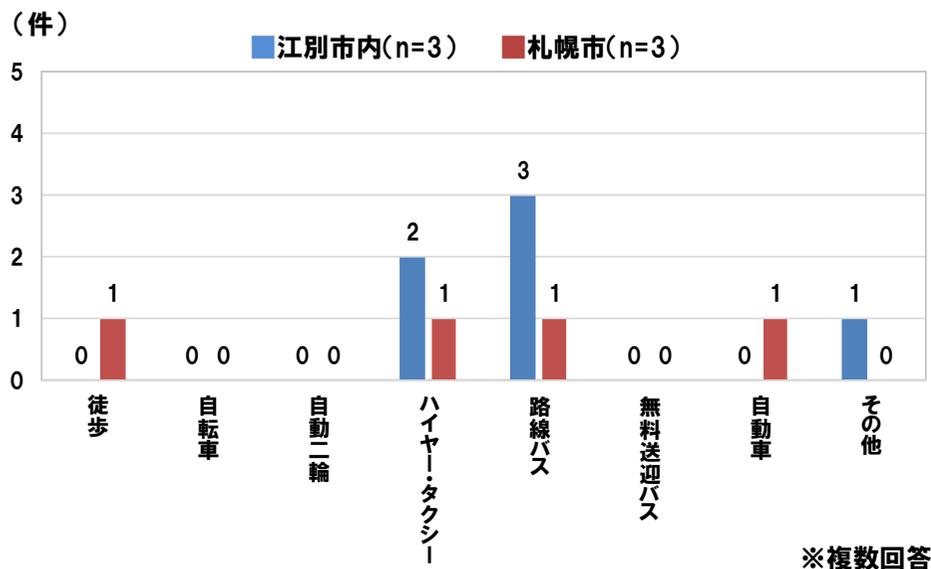
通院目的の移動で、移動手段としてJRを選択している場合に、JRと合わせて選択されている移動手段について、目的地別に整理した。

(2)通院

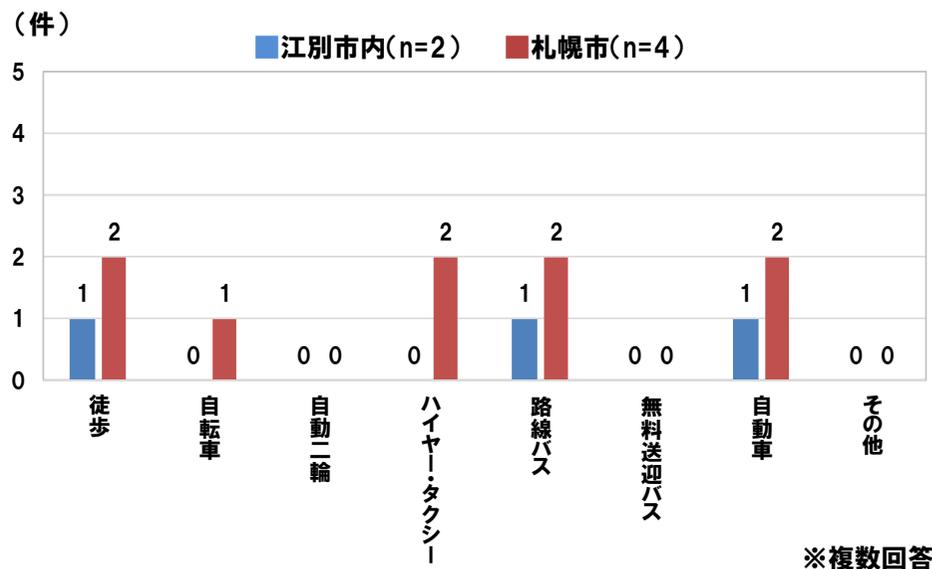
全体



江別地区1



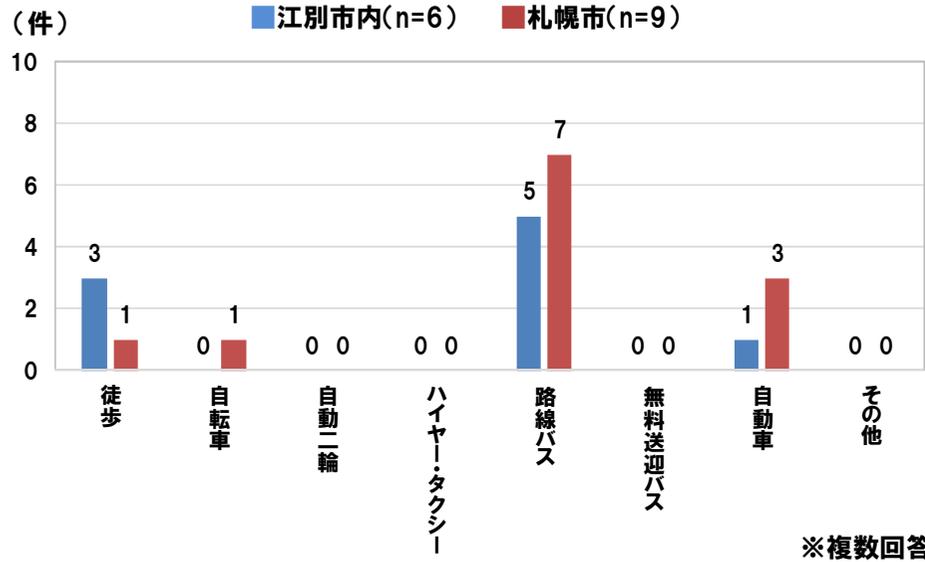
江別地区2



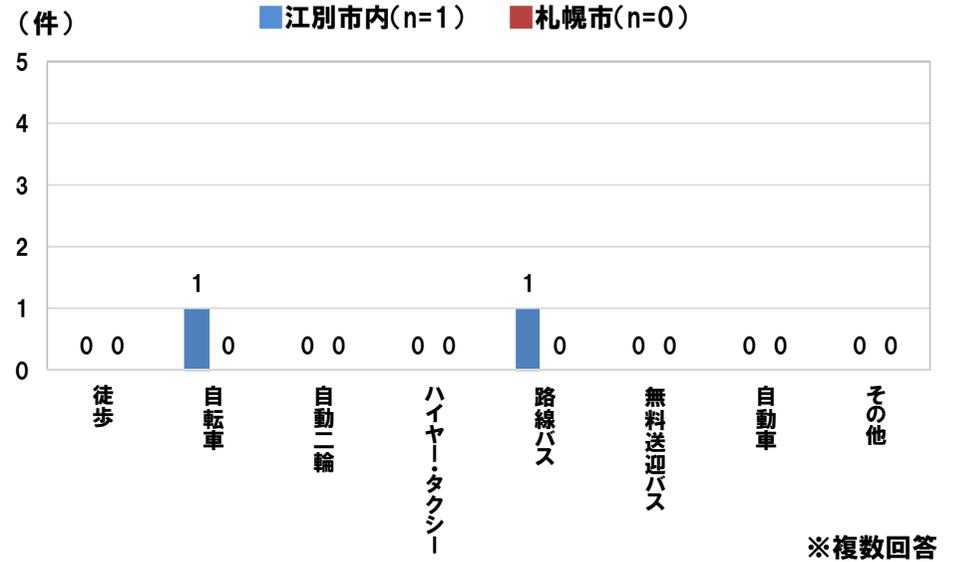
JR駅へのアクセス手段(H26・H28調査結果より)

(2)通院

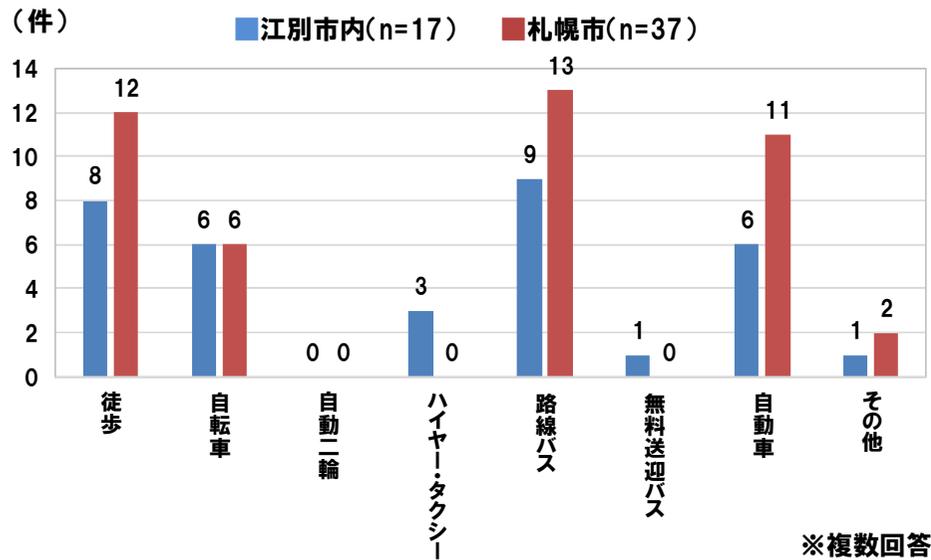
江別地区3



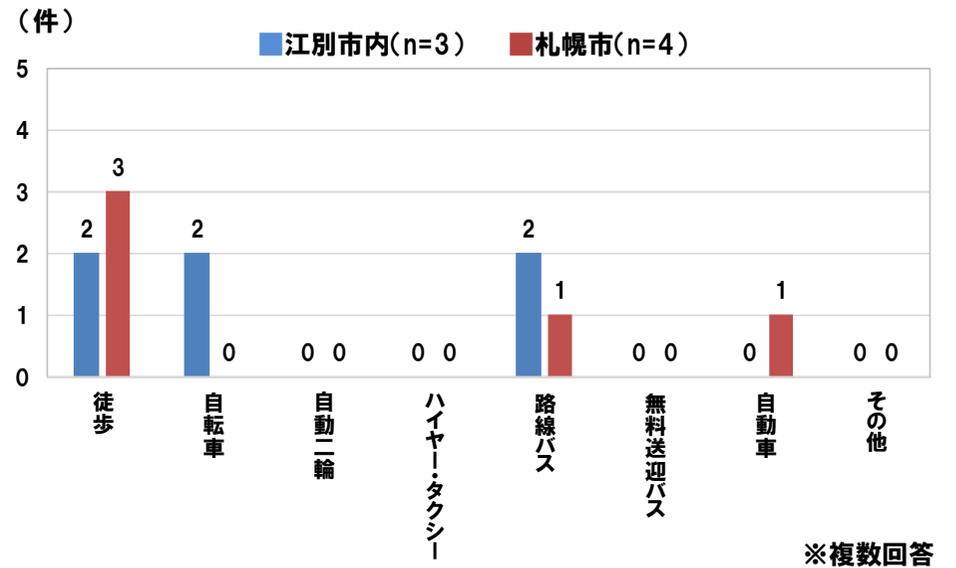
江別地区4



野幌地区1



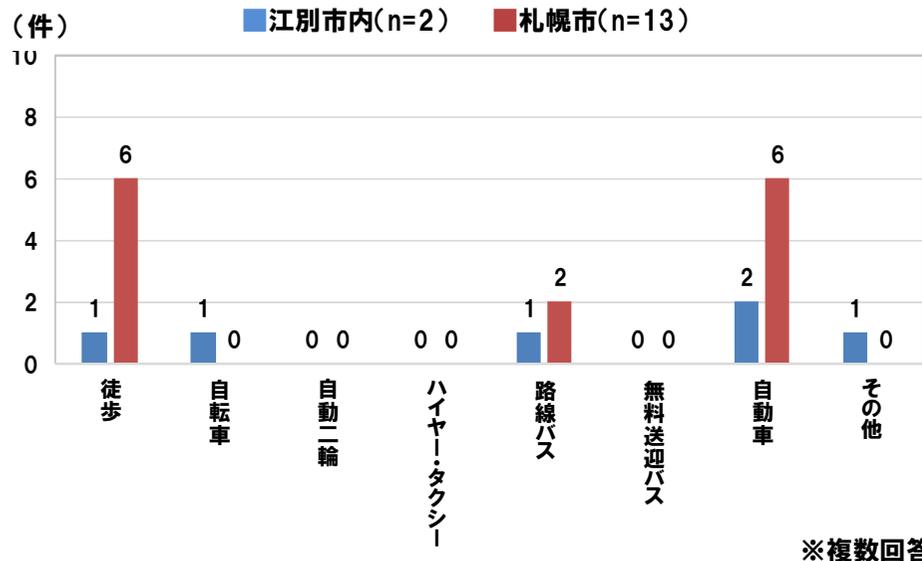
野幌地区2



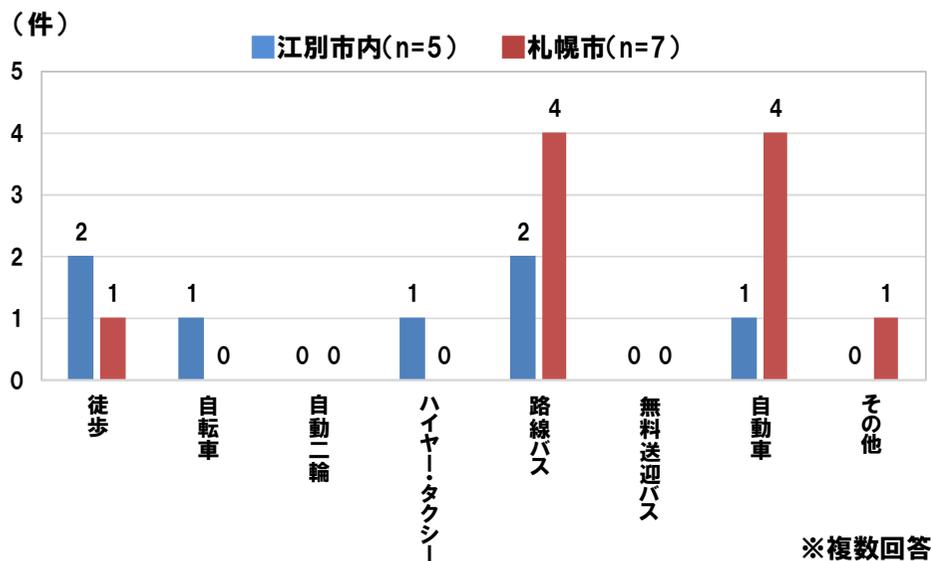
JR駅へのアクセス手段(H26・H28調査結果より)

(2)通院

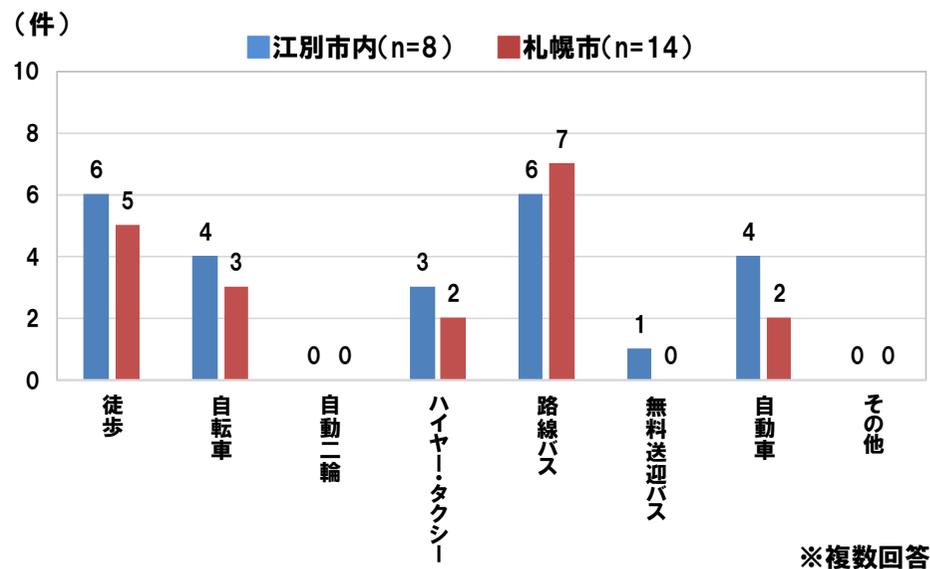
野幌地区3



大麻地区1



大麻地区2



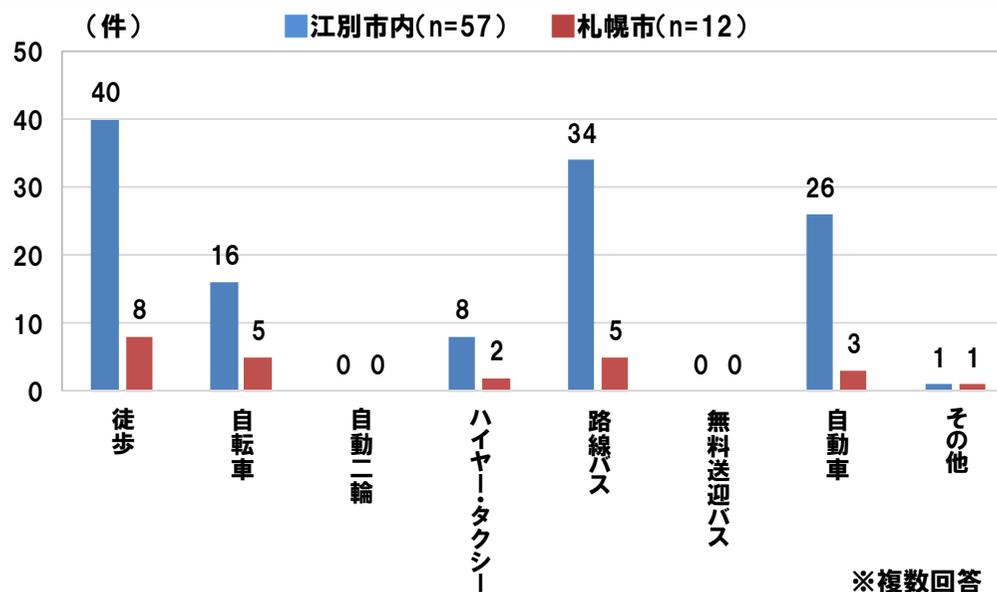
(3)買物

買物目的の移動で、移動手段としてJRを選択している場合に、JRと合わせて選択されている移動手段について、目的地別に整理した。

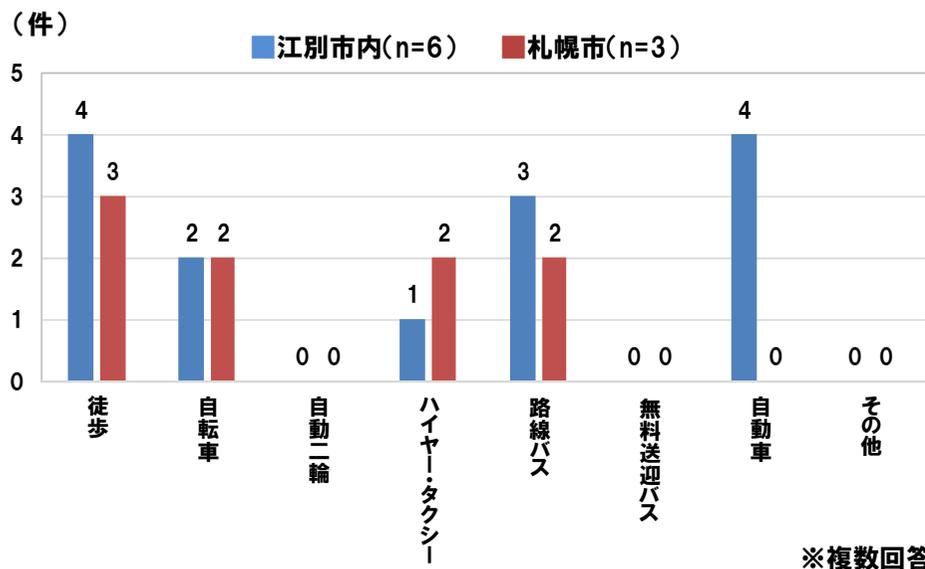
JR駅へのアクセス手段(H26・H28調査結果より)

(3)買物

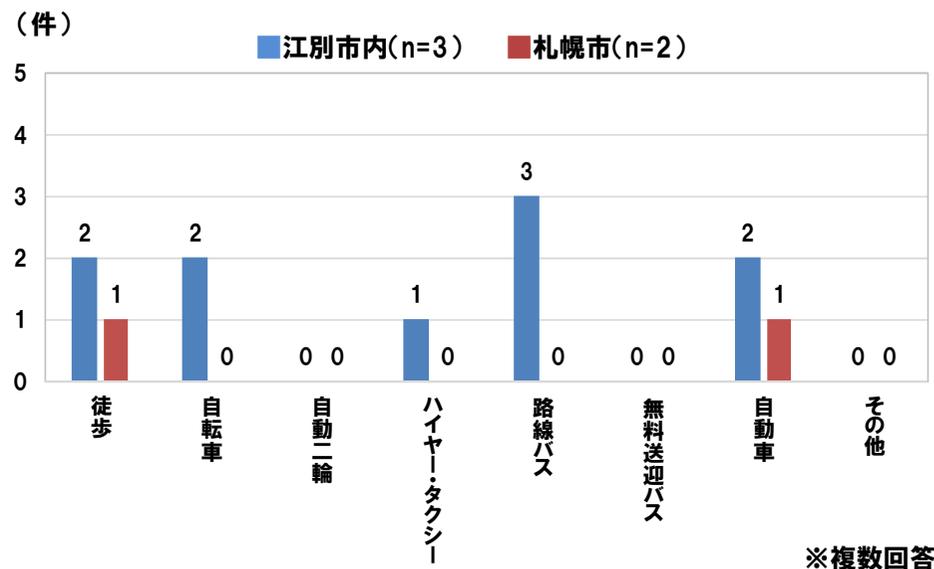
全体



江別地区1



江別地区2

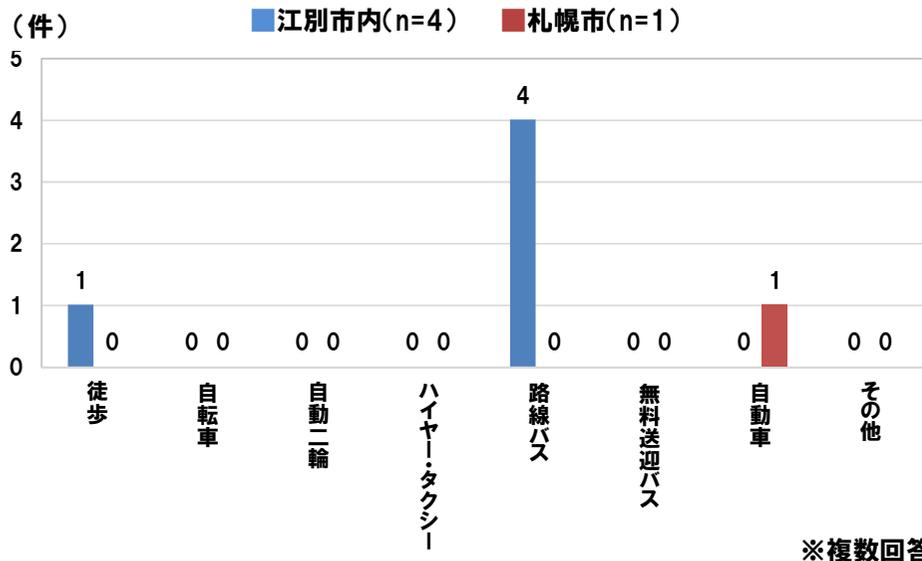


JR駅へのアクセス手段(H26・H28調査結果より)

(3)買物

江別地区3

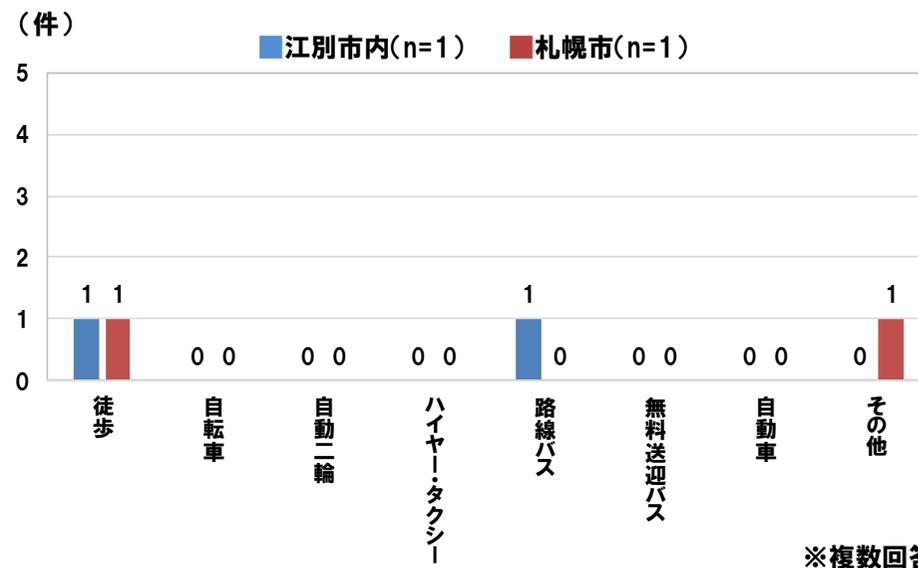
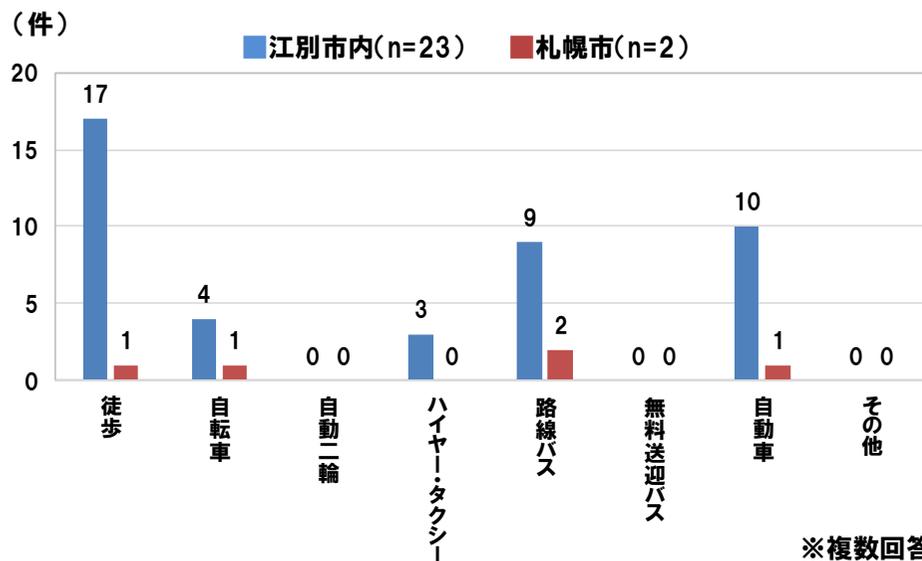
江別地区4



対象なし

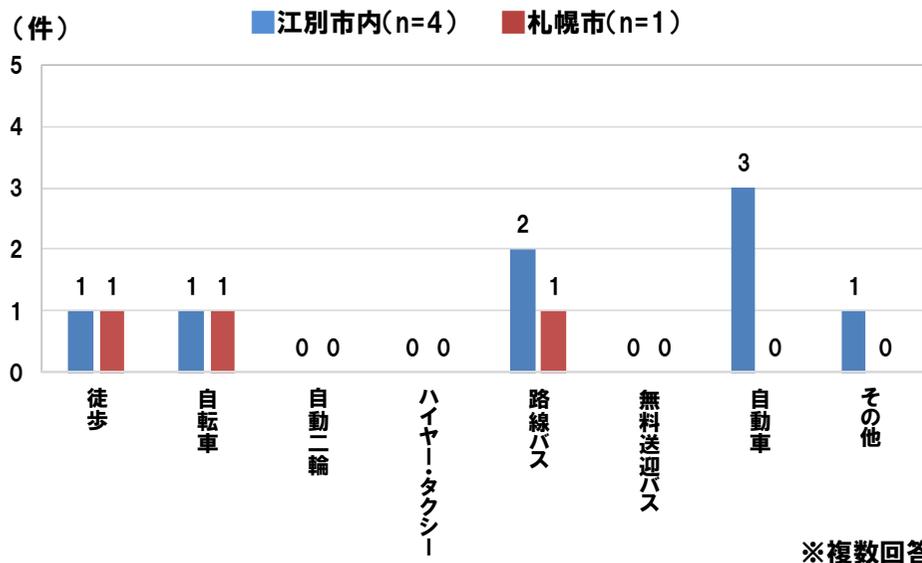
野幌地区1

野幌地区2

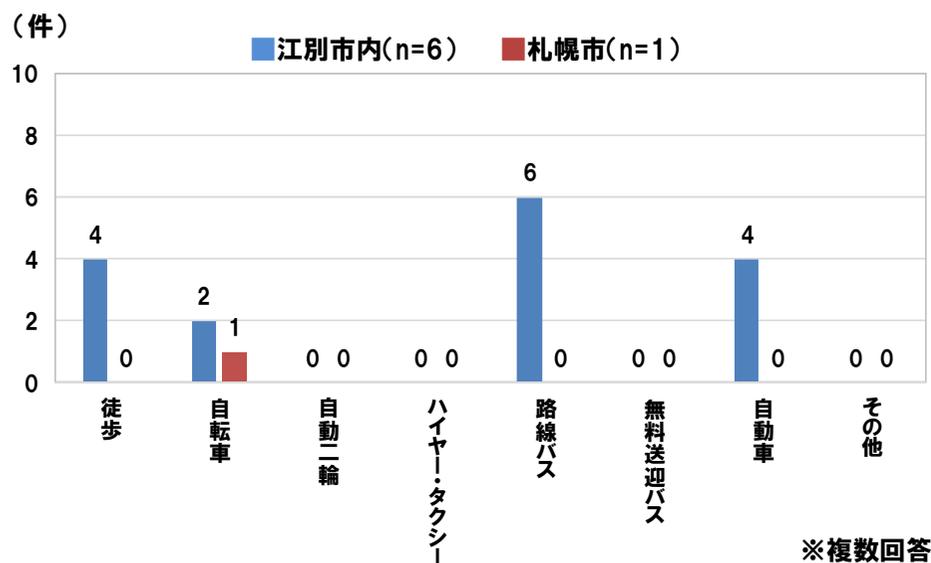


(3)買物

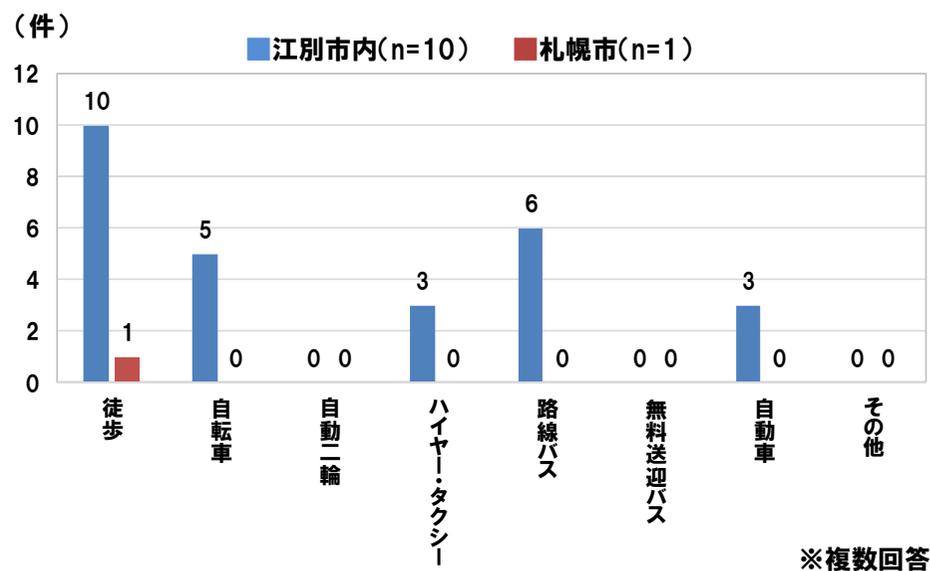
野幌地区3



大麻地区1



大麻地区2



■通勤・通学

- ・JR選択者の多くは、札幌市への通勤・通学で利用しており、全体で見ると、JRへの主なアクセス手段としては、「徒歩」、「自転車」、「路線バス」及び「自動車」の順に回答が多くなっている。
- ・江別地区1や野幌地区1などのJR駅から比較的近いと考えられる地区では、「徒歩」や「自転車」の回答が「路線バス」や「自動車」との回答よりも多くなっている。
- ・反対に、JR駅から遠いと考えられる江別地区3では、「路線バス」の回答が多くなっているが、同様にJR駅から離れた野幌地区3においては、「徒歩」や「自転車」との回答が多くなっている。

■通院

- ・江別市内と札幌市を問わず、JRへの主なアクセス手段としては、「路線バス」との回答が最多となっており、続いて「自動車」、「徒歩」、「自転車」の順となっている。
- ・地区別ではそれぞれの回答数が少なくなっているが、最も回答数の多い野幌地区1は、JR駅から近いと考えられるものの、「路線バス」や「自動車」との回答が多くなっている。

■買物

- ・JR選択者においても江別市内での買物が多くなっており、全体で見ると、JRへの主なアクセス手段としては、「徒歩」、「路線バス」及び「自動車」の順に回答が多くなっている。
- ・地区別ではそれぞれの回答数が少ないことから、買物のJR利用者は僅かに推察される。

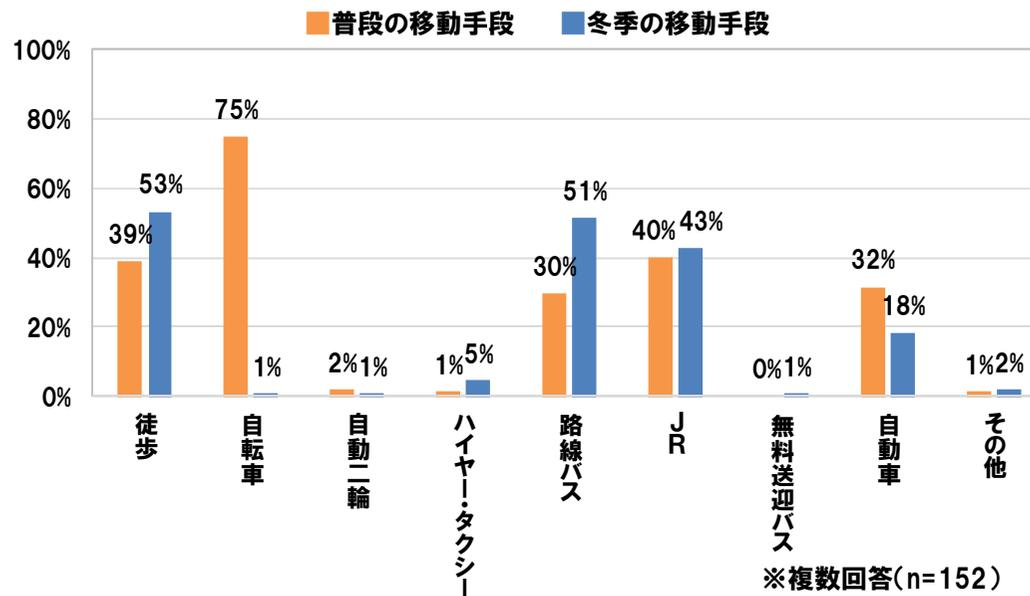
(1)通勤・通学

通勤・通学目的での移動があり、冬期に移動手段を変更すると回答した場合に、普段の移動手段と冬期の移動手段の選択状況を整理した。

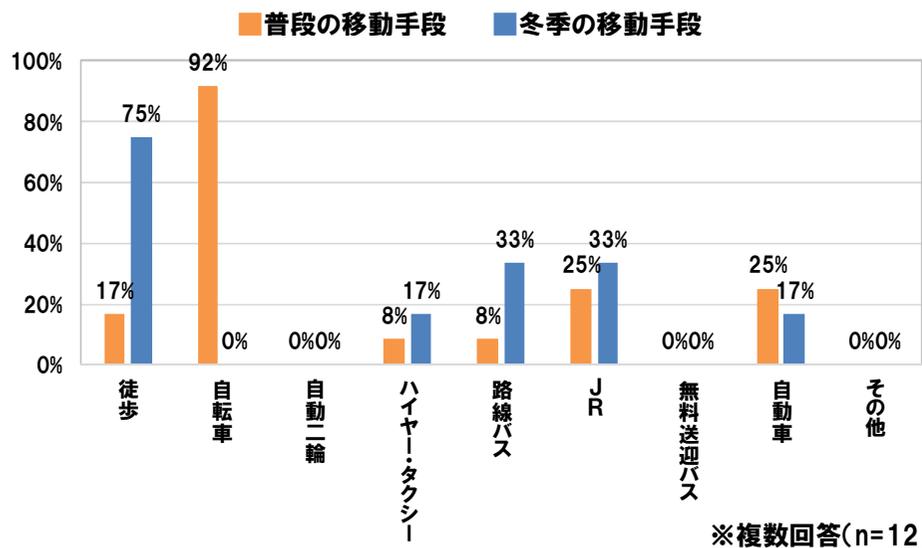
冬期の交通手段変更(H26・H28調査結果より)

(1)通勤・通学

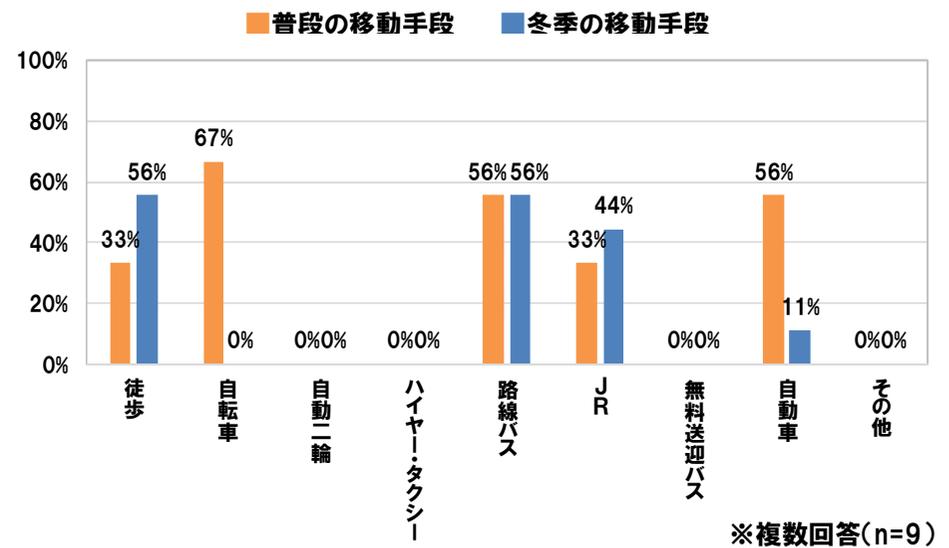
全体



江別地区1



江別地区2

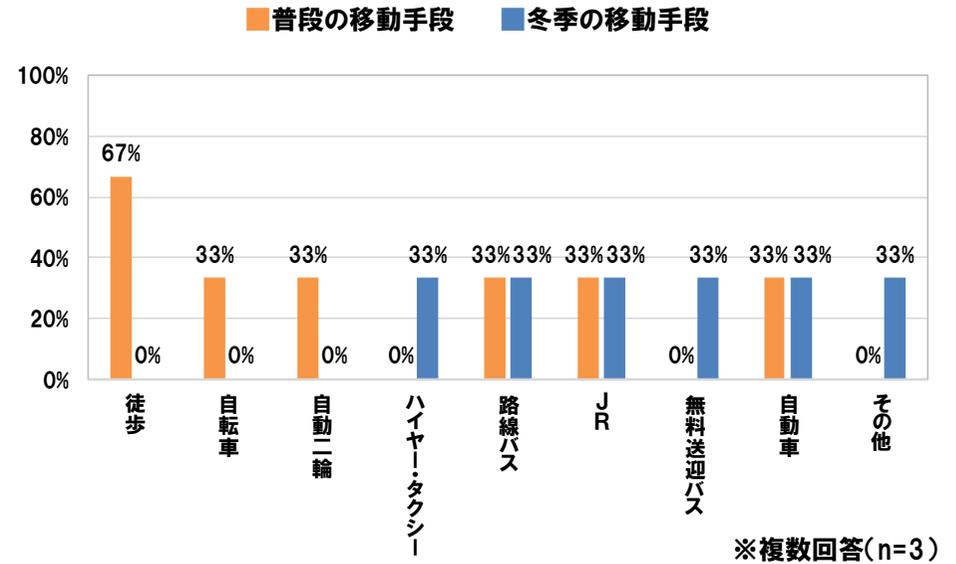
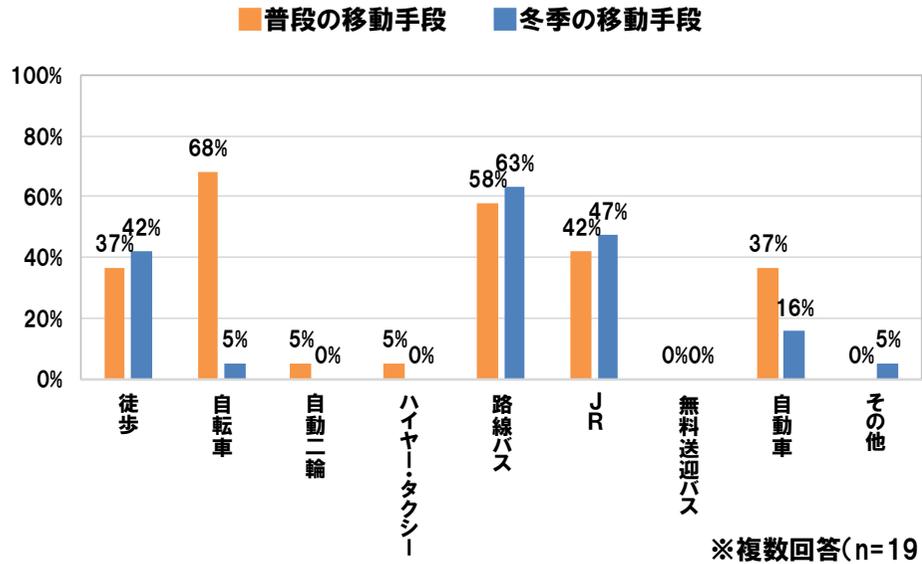


冬期の交通手段変更(H26・H28調査結果より)

(1)通勤・通学

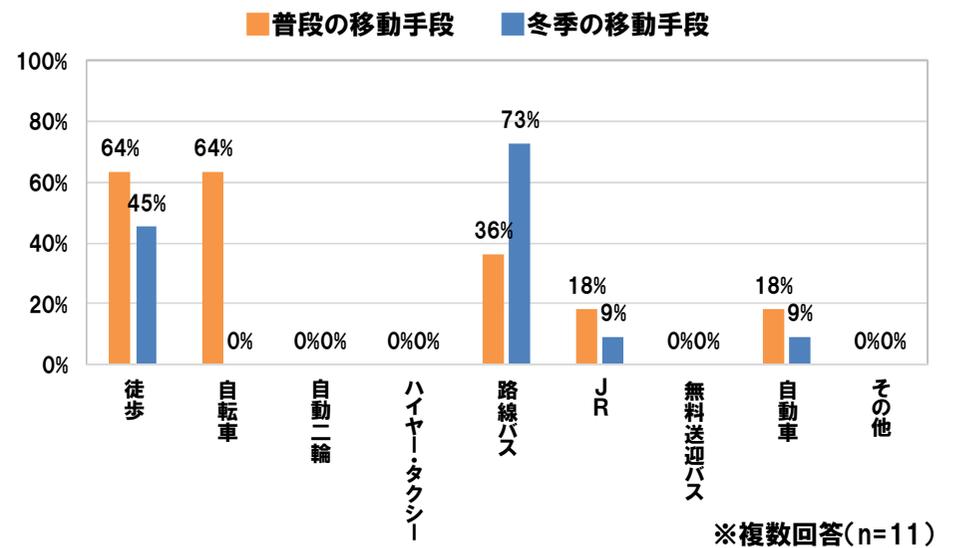
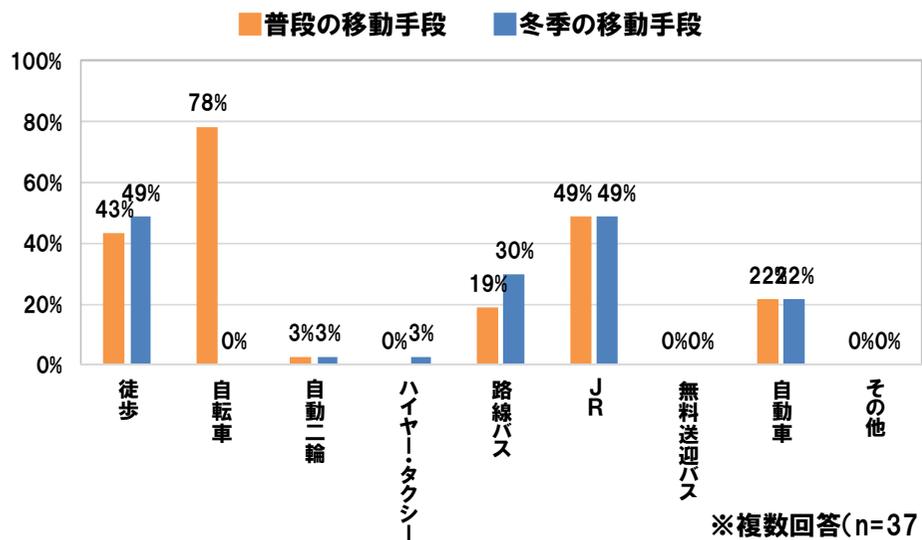
江別地区3

江別地区4



野幌地区1

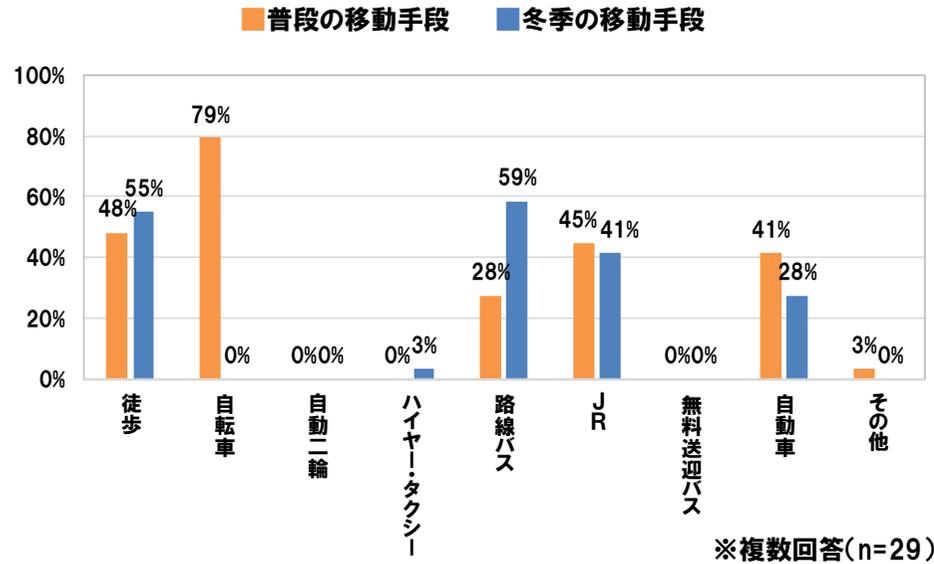
野幌地区2



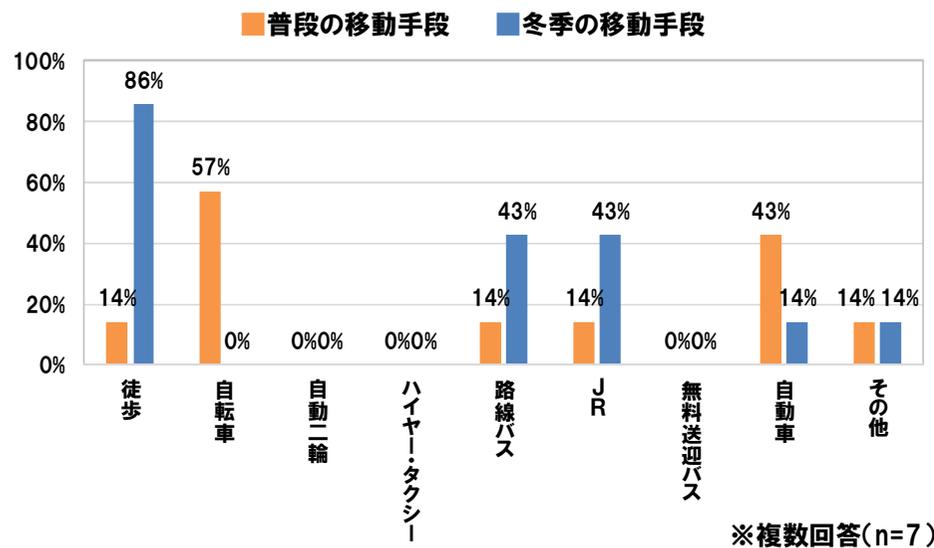
冬期の交通手段変更(H26・H28調査結果より)

(1)通勤・通学

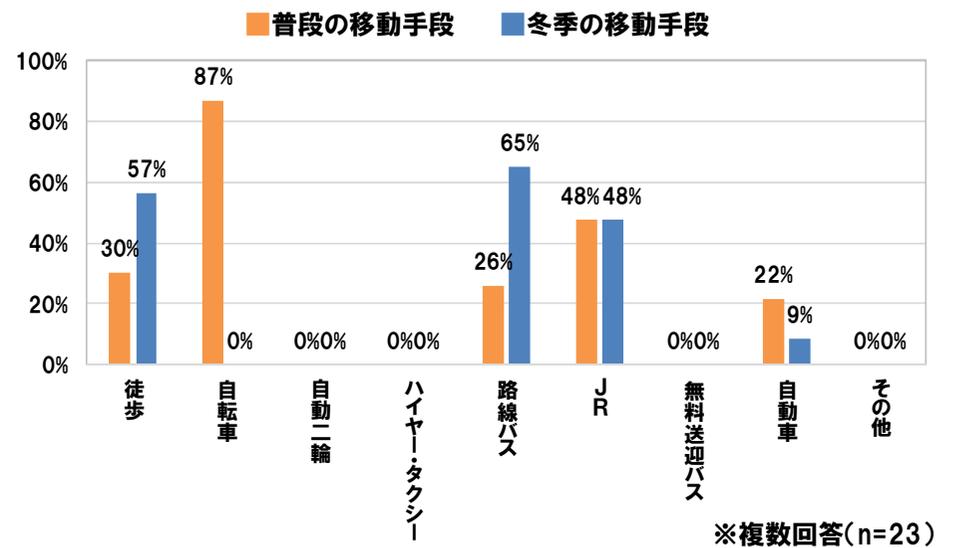
野幌地区3



大麻地区1



大麻地区2



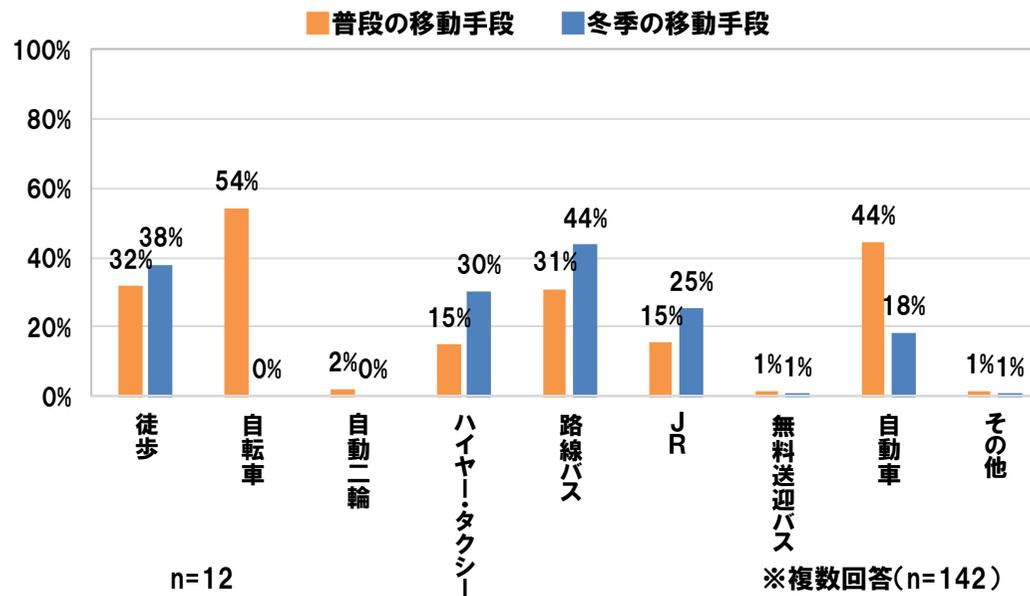
(2)通院

通院目的での移動があり、冬期に移動手段を変更すると回答した場合に、普段の移動手段と冬期の移動手段の選択状況を整理した。

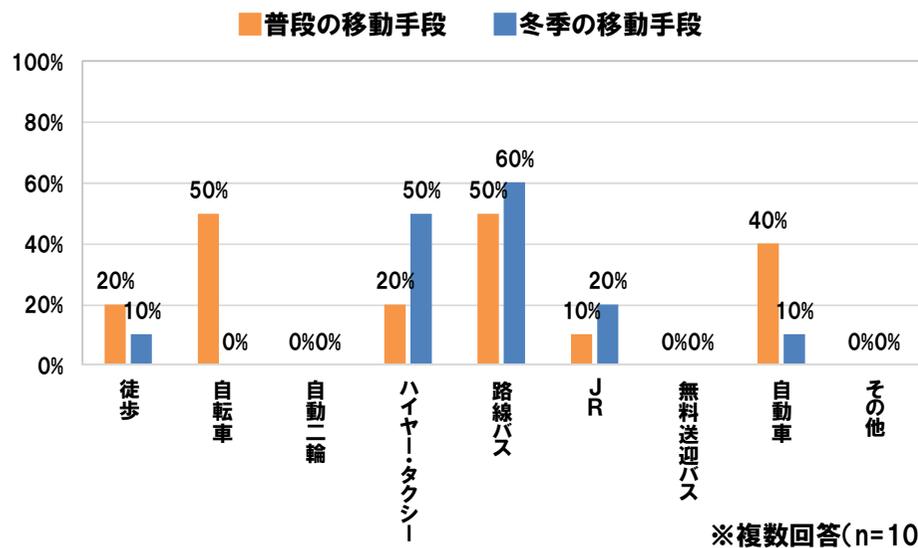
冬期の交通手段変更(H26・H28調査結果より)

(2)通院

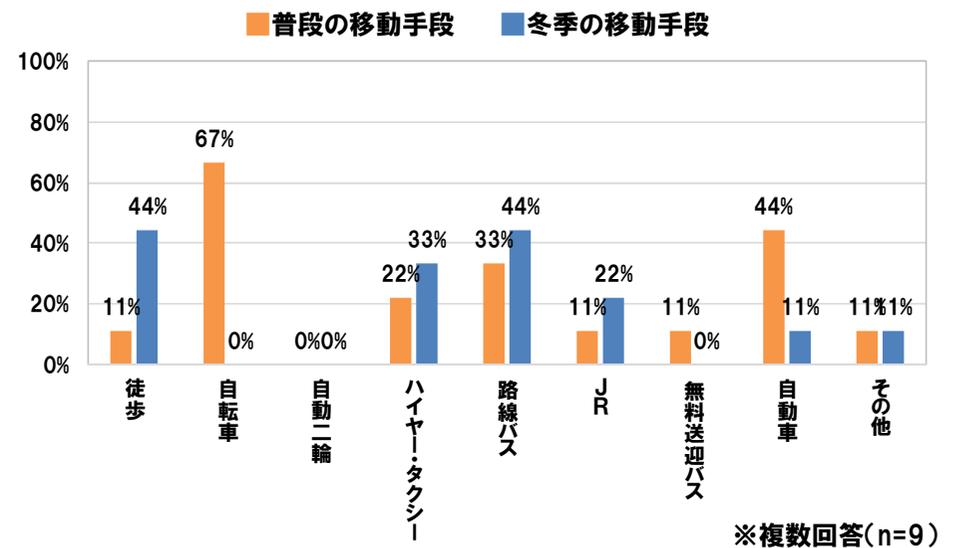
全体



江別地区1



江別地区2

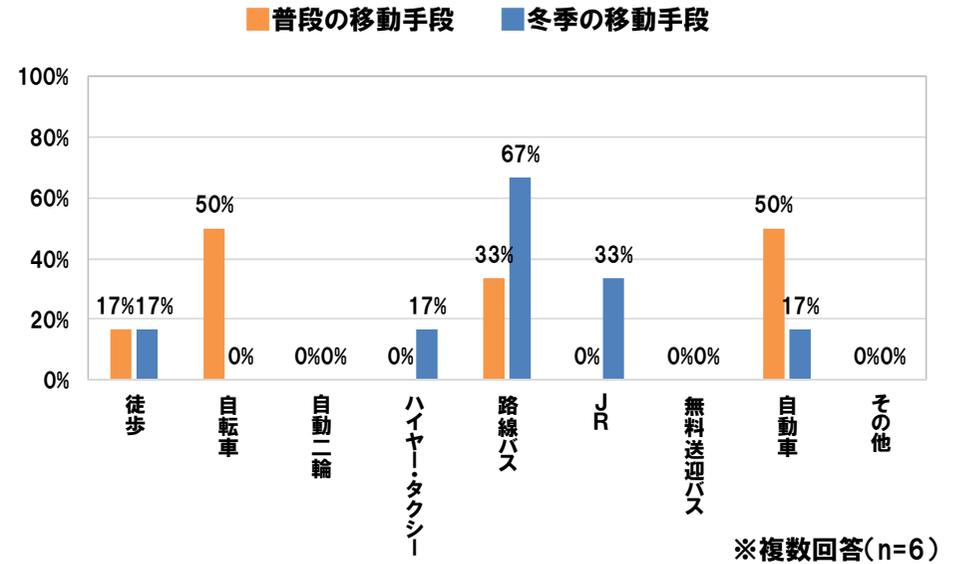
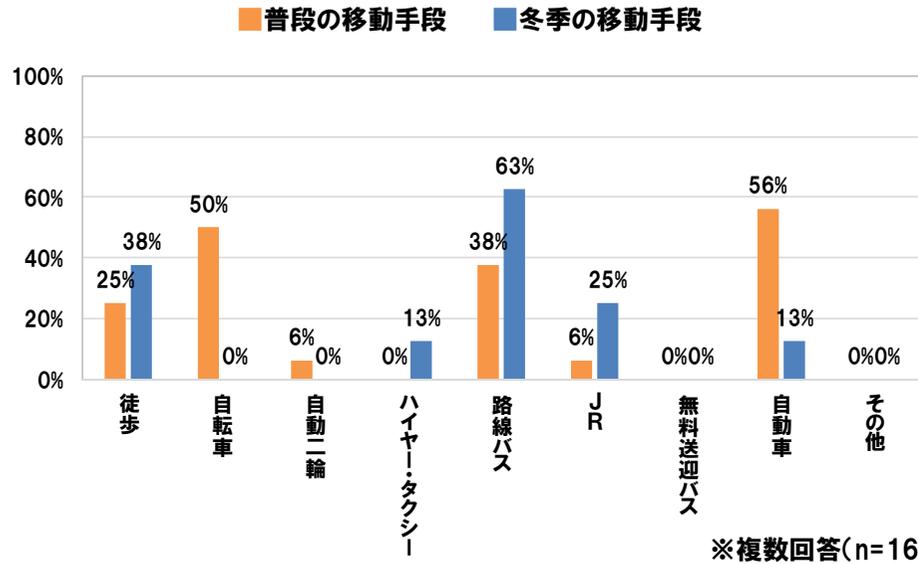


冬期の交通手段変更(H26・H28調査結果より)

(2)通院

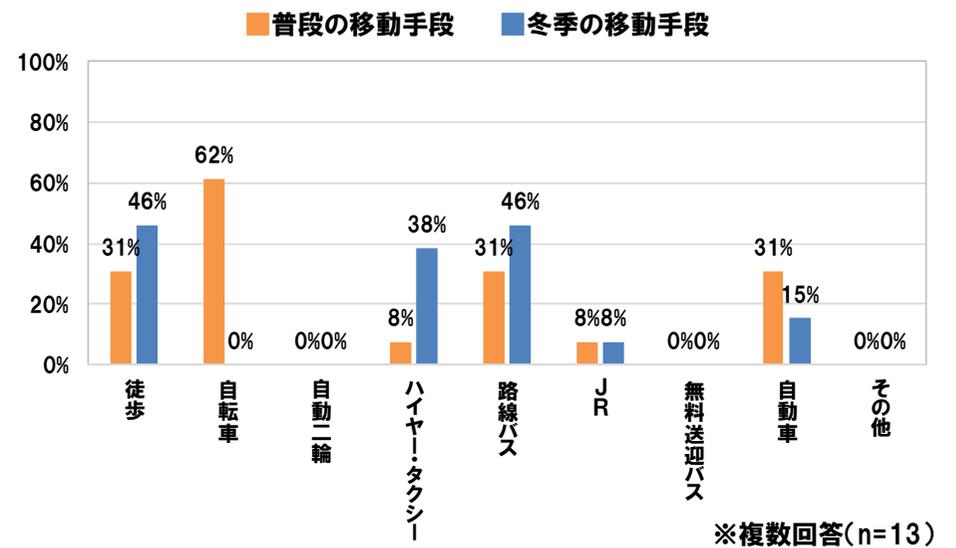
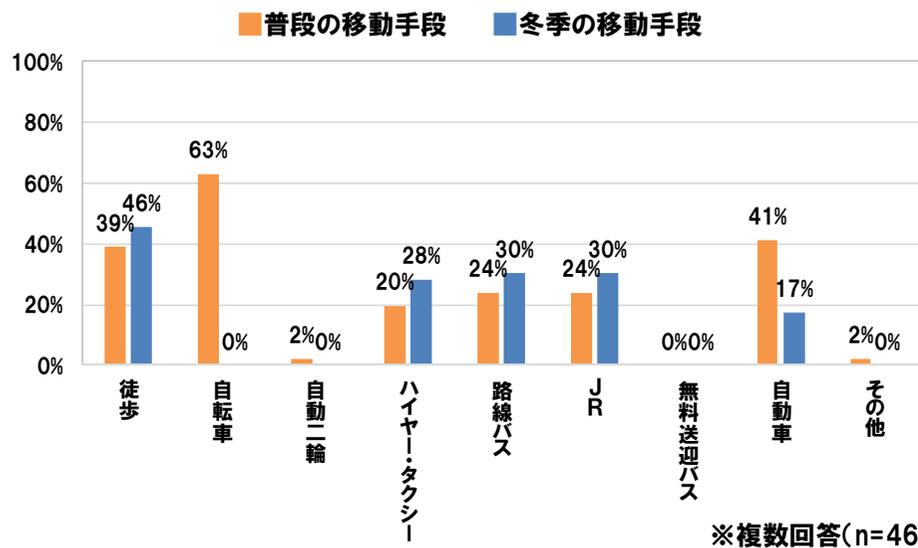
江別地区3

江別地区4



野幌地区1

野幌地区2

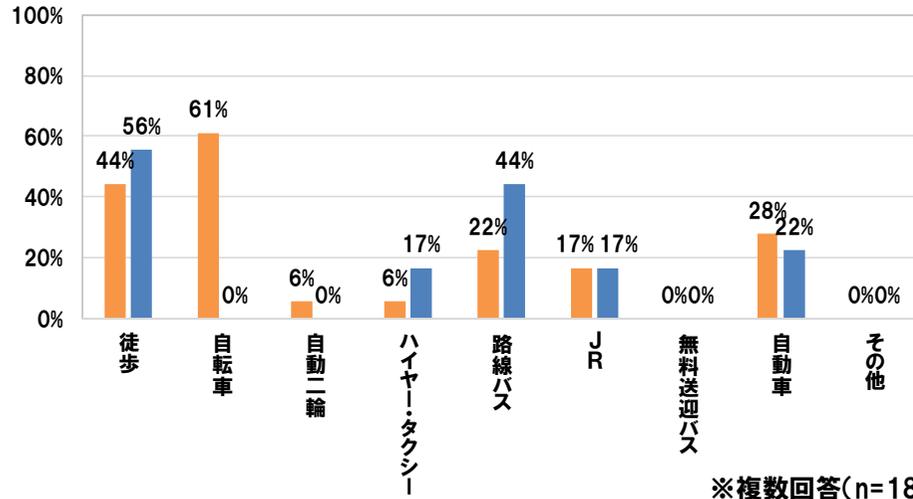


冬期の交通手段変更(H26・H28調査結果より)

(2)通院

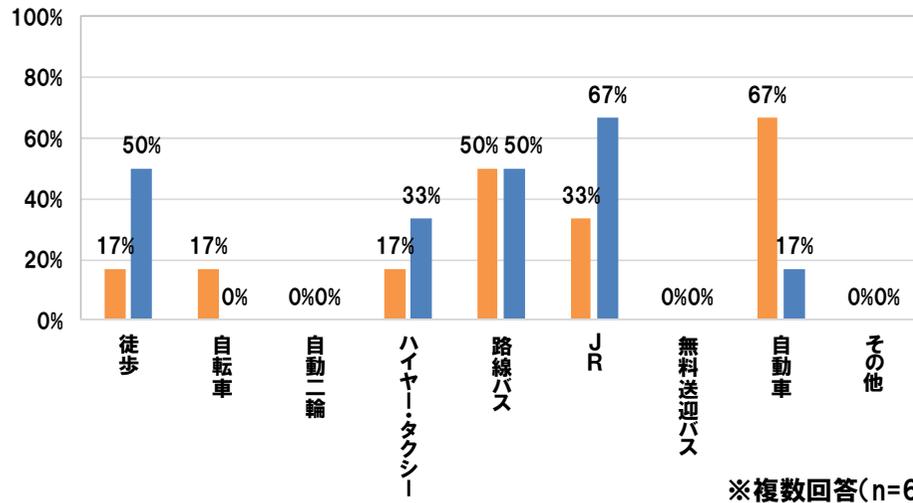
野幌地区3

■ 普段の移動手段 ■ 冬季の移動手段



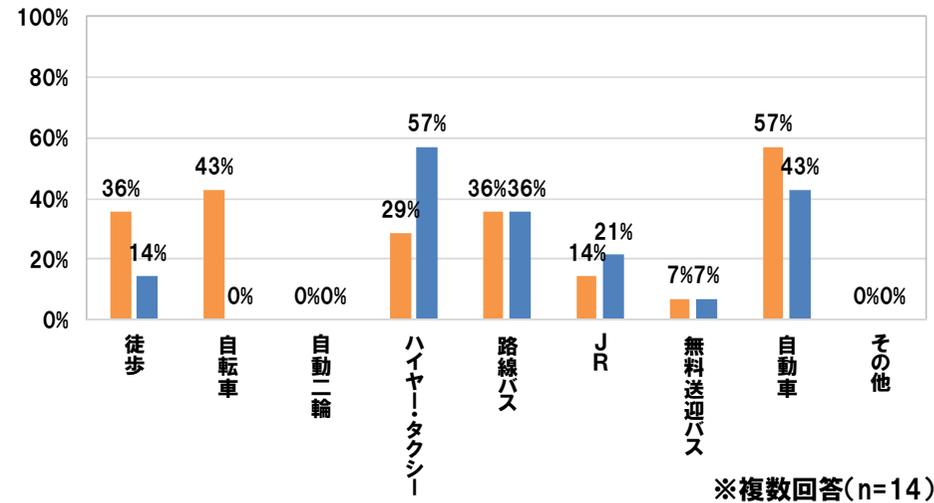
大麻地区1

■ 普段の移動手段 ■ 冬季の移動手段



大麻地区2

■ 普段の移動手段 ■ 冬季の移動手段



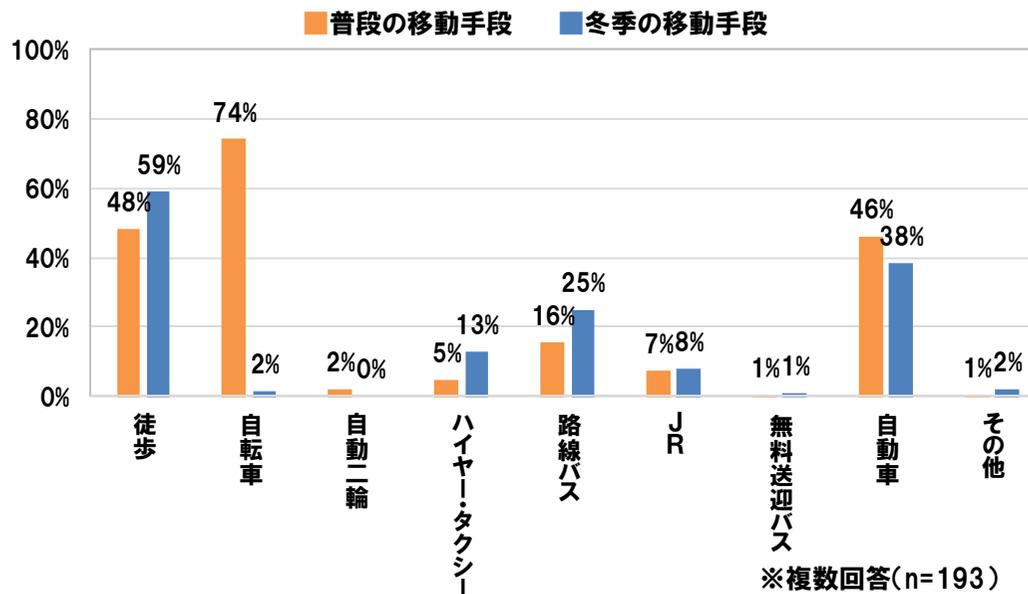
(3)買物

買物目的での移動があり、冬期に移動手段を変更すると回答した場合に、普段の移動手段と冬期の移動手段の選択状況を整理した。

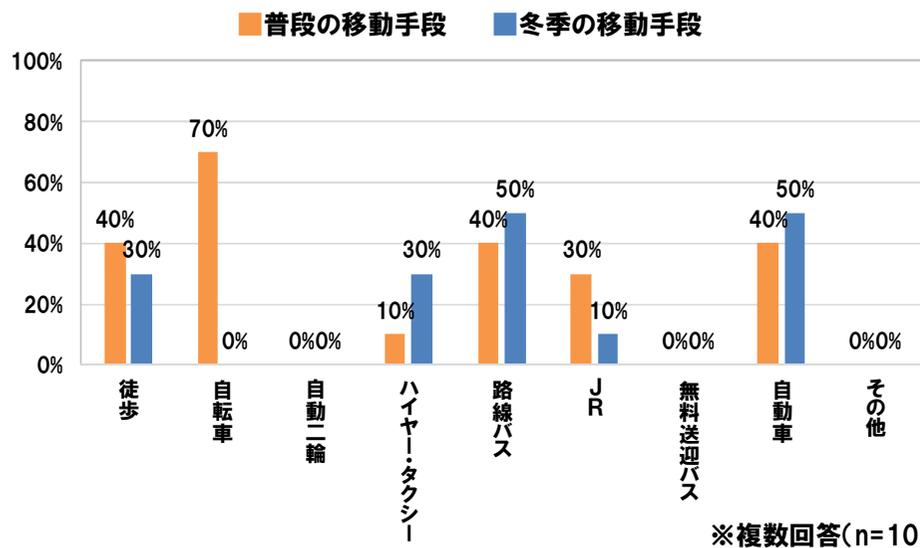
冬期の交通手段変更(H26・H28調査結果より)

(3)買物

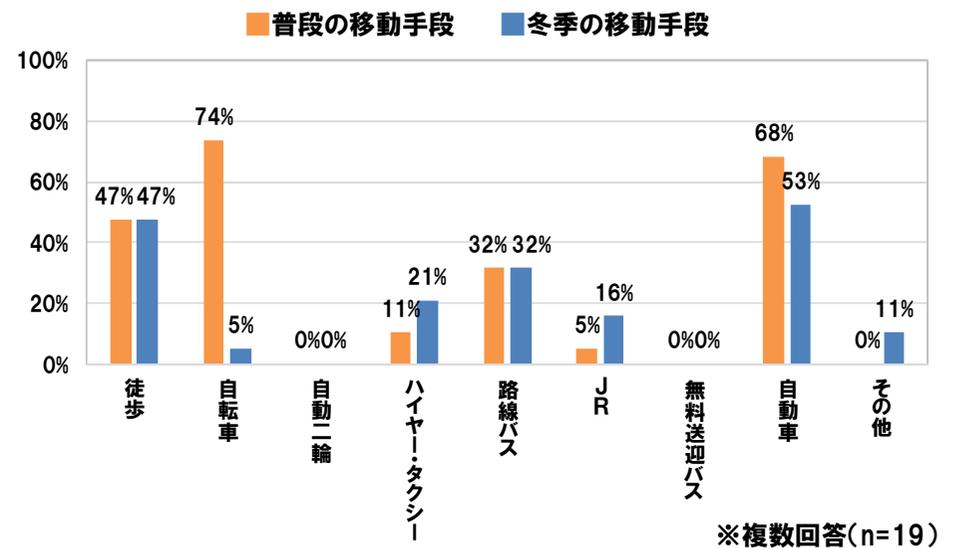
全体



江別地区1



江別地区2

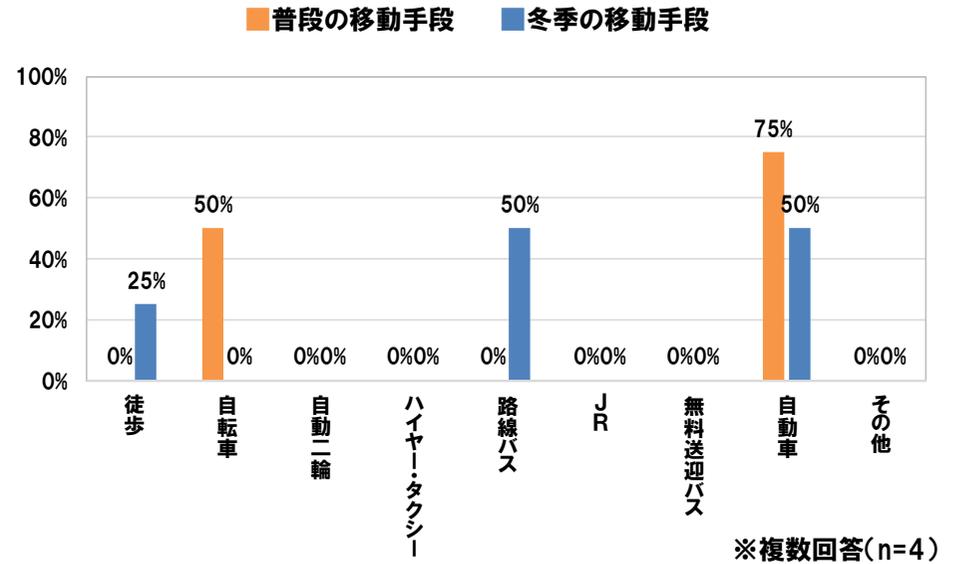
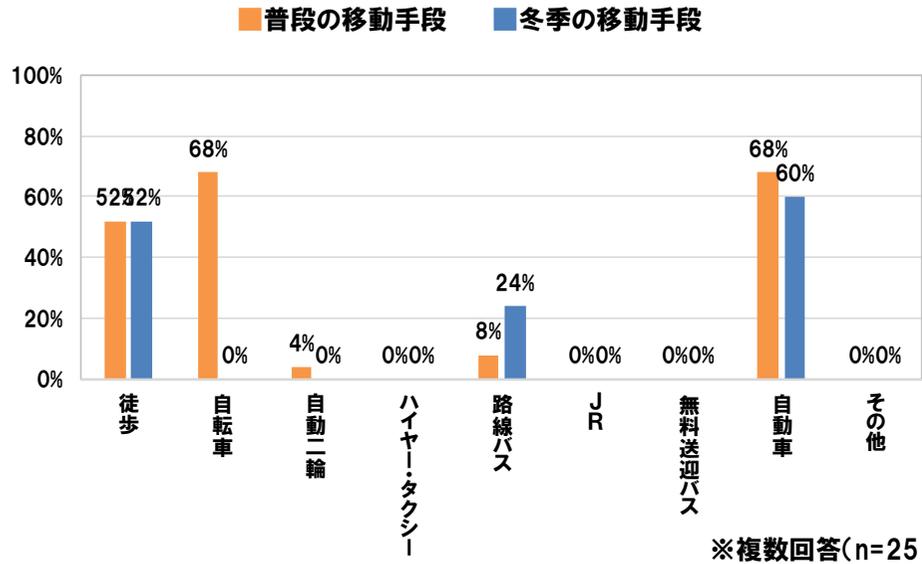


冬期の交通手段変更(H26・H28調査結果より)

(3)買物

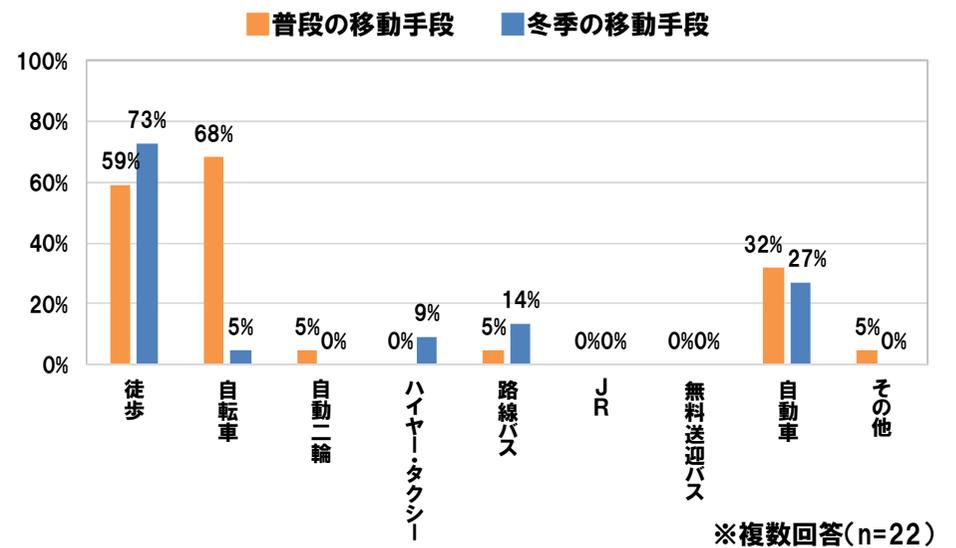
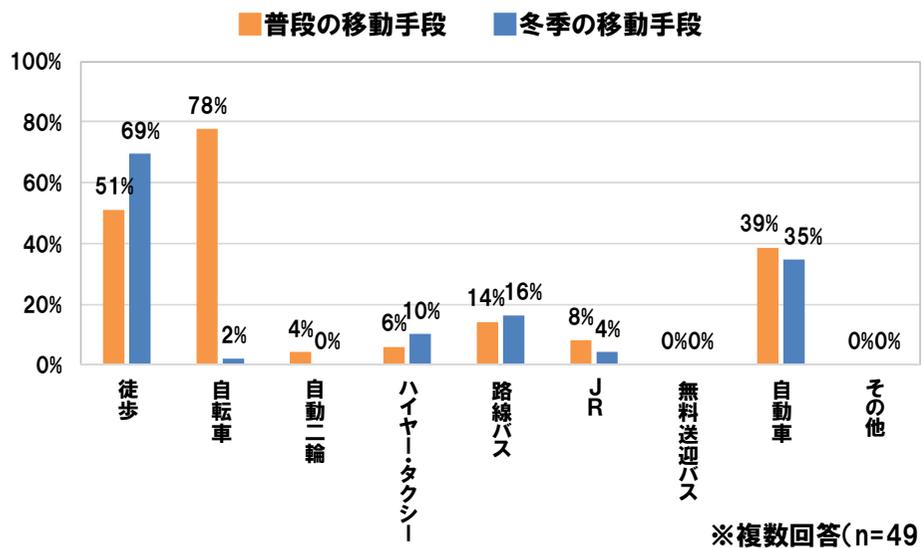
江別地区3

江別地区4



野幌地区1

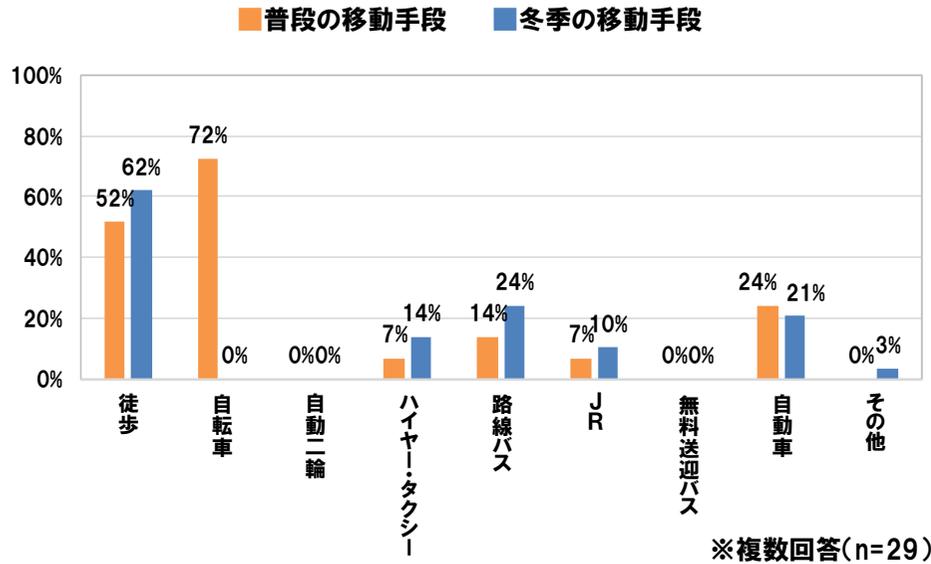
野幌地区2



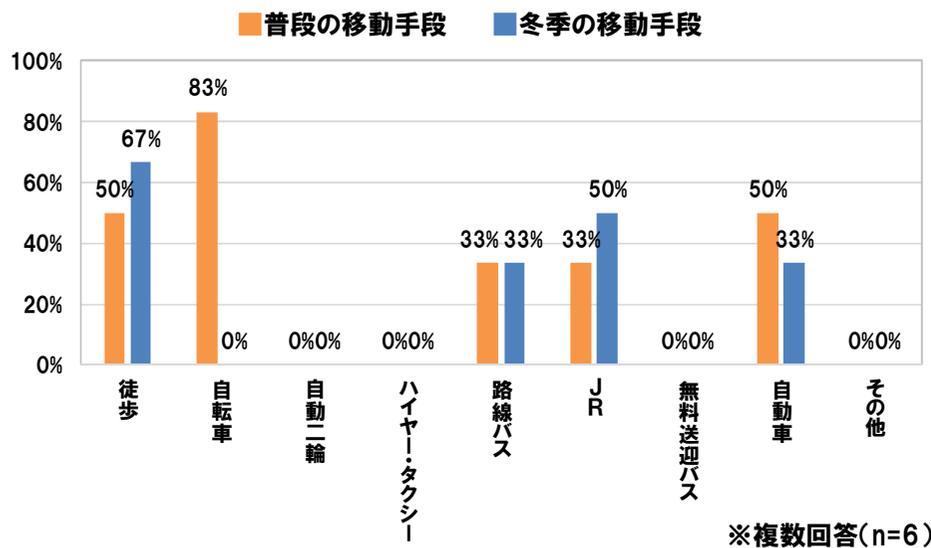
冬期の交通手段変更(H26・H28調査結果より)

(3)買物

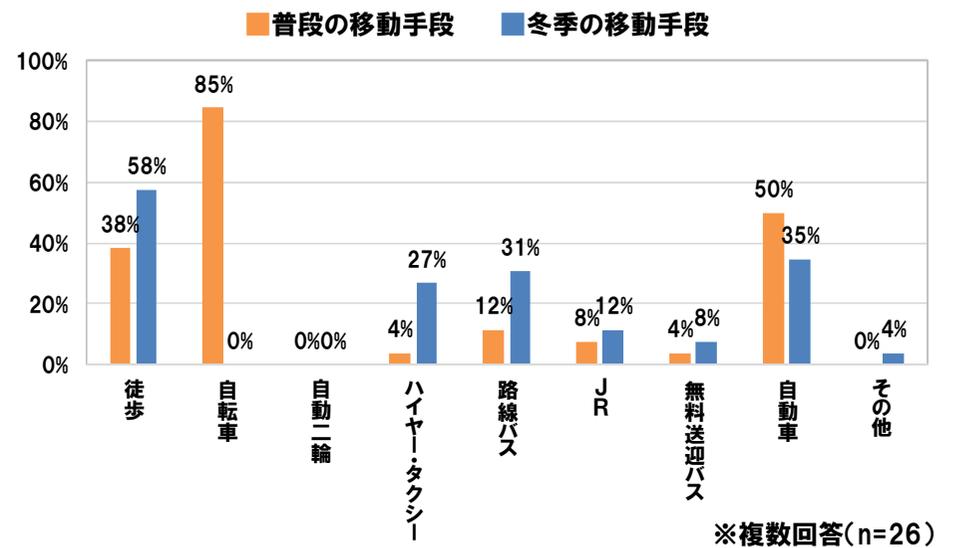
野幌地区3



大麻地区1



大麻地区2



冬期の交通手段変更(H26・H28調査結果より)

冬期に路線バスへ転換する方の交通手段

条件等

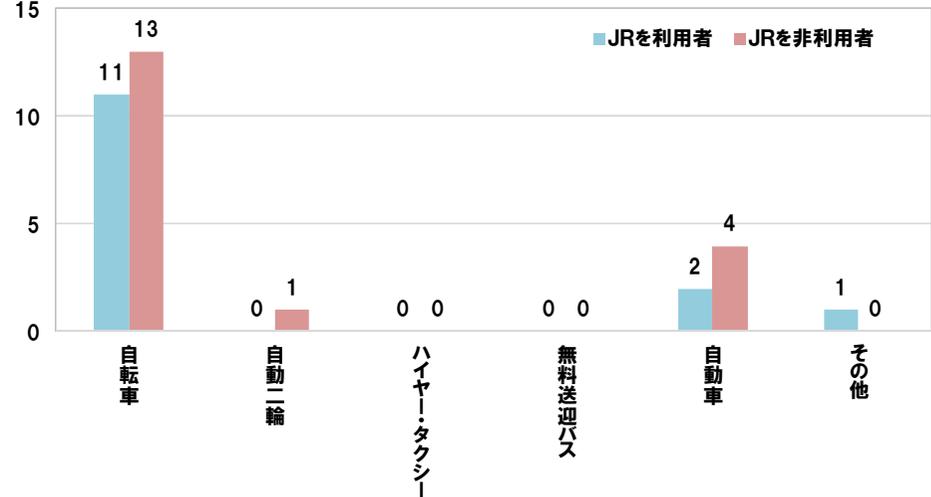
条件①：冬期のみ路線バスを利用している。
 条件②：通年で自動車を利用していない。

※JRの利用は、乗り継ぎでの利用の可能性があるので、有無により、整理。

通勤・通学

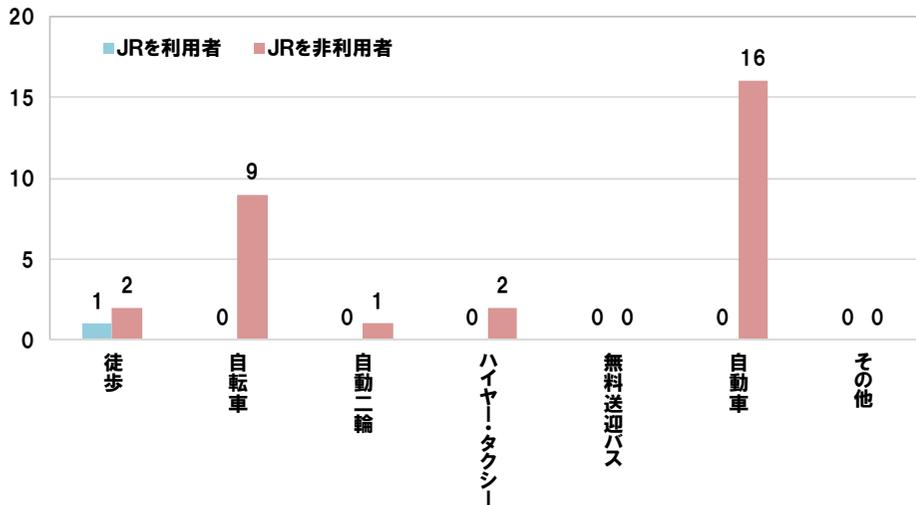
(件)

※徒歩のみからの転換は無し



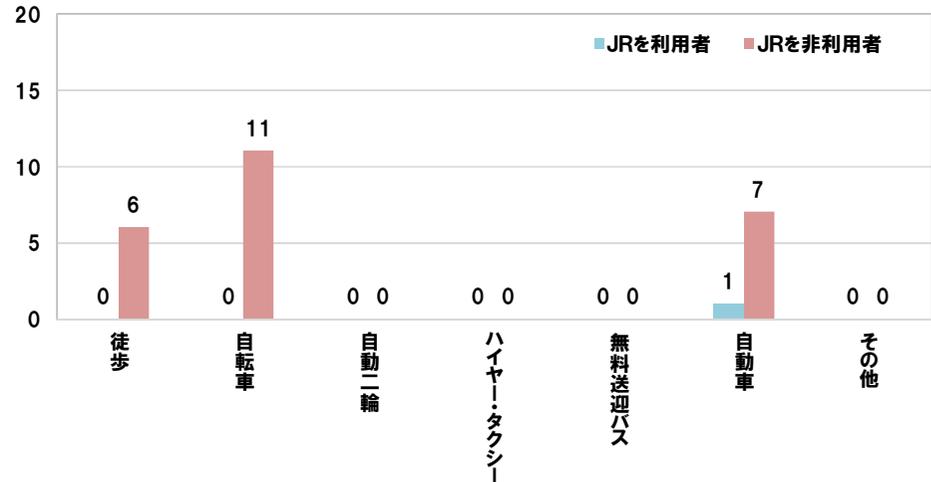
通院

(件)



買物

(件)



■ 通勤・通学

- ・通勤・通学を目的とする移動において、回答者全体では、冬期に移動手段を変更すると回答した人のうち、75%が普段の移動に「自転車」を利用しており、また冬期にはほぼ皆無となることから、「自転車」からの手段変更が多いと推察される。
- ・「徒歩」及び「路線バス」は、冬期に10%以上の増加となっており、特に「路線バス」は21%で最大の増加となっている。反対に「自転車」及び「自動車」は、冬期に10%以上の減少となっている。

■ 通院

- ・通院を目的とする移動においても、通勤・通学と同様に、「自転車」利用からの手段変更が推察される。
- ・「路線バス」、「ハイヤー・タクシー」及び「JR」は、冬期に10%以上の増加となっており、反対に「自転車」及び「自動車」は、冬期に10%以上の減少となっている。特に「自動車」は、約26%の減少となっており、「自転車」に次いで増減が大きい。

■ 買物

- ・買物を目的とする移動においても、「自転車」利用からの手段変更が推察される。
- ・「自転車」以外の手段変更は、「徒歩」が冬期に約11%増加しているものの、それ以外の手段では、1割以上の増減は見られない。

◆ 路線バスへの手段変更

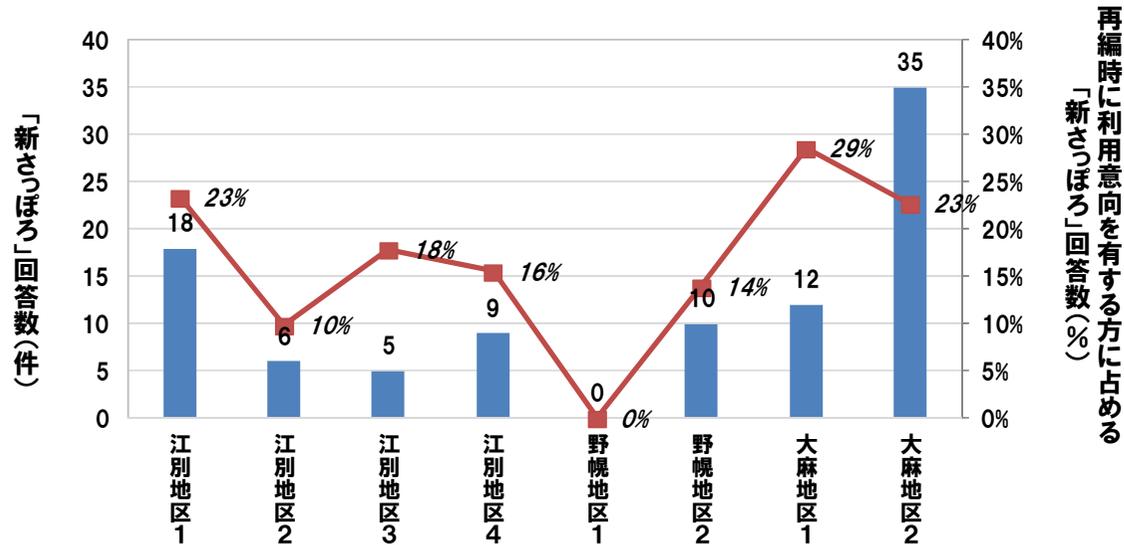
- ・通勤・通学を目的とする移動においては、JRの利用の有無を問わず、「自転車」からの手段変更が多くなっている。
- ・通院及び買物を目的とする移動においては、「徒歩」、「自転車」及び「自動車」からの手段変更が多くなっている。

再編された場合に行きたい場所を「新さっぽろ」と回答された方

路線バスが再編された場合の利用意向(H28調査結果より)

再編された場合に行きたい場所を「新さっぽろ」と回答した方

居住地

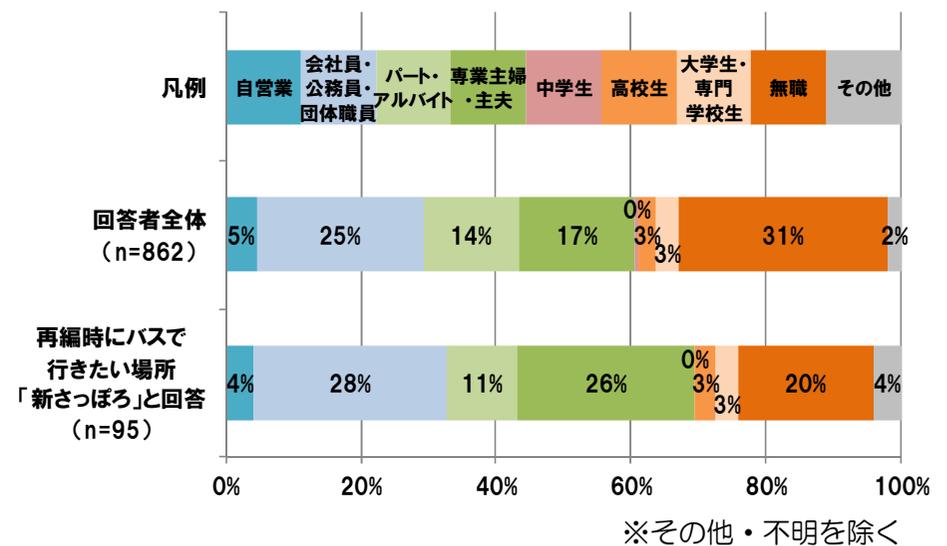
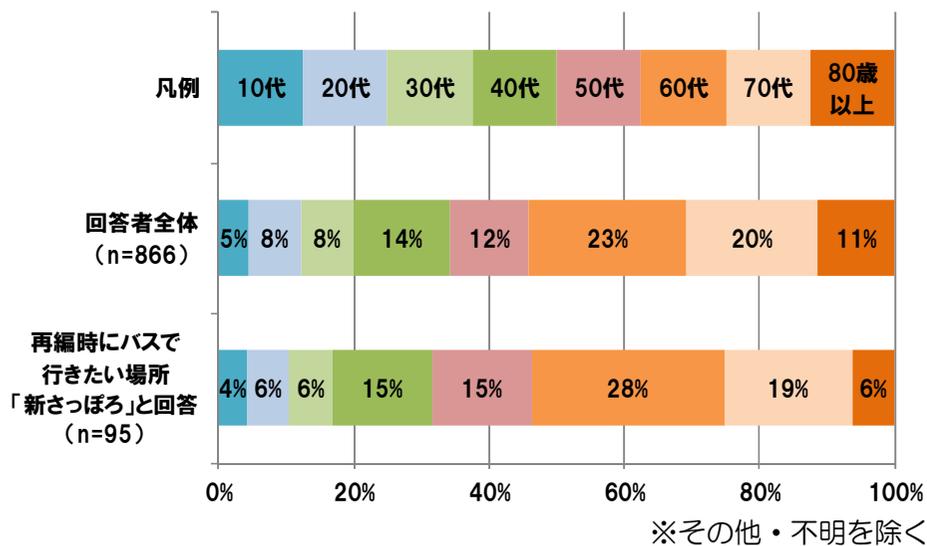


再編時に利用意向を有する方に占める「新さっぽろ」回答数(%)

※その他・不明を除く
 ※野幌地区1及び3は、H28ではほとんどが対象外

年齢

職業・就業の状況

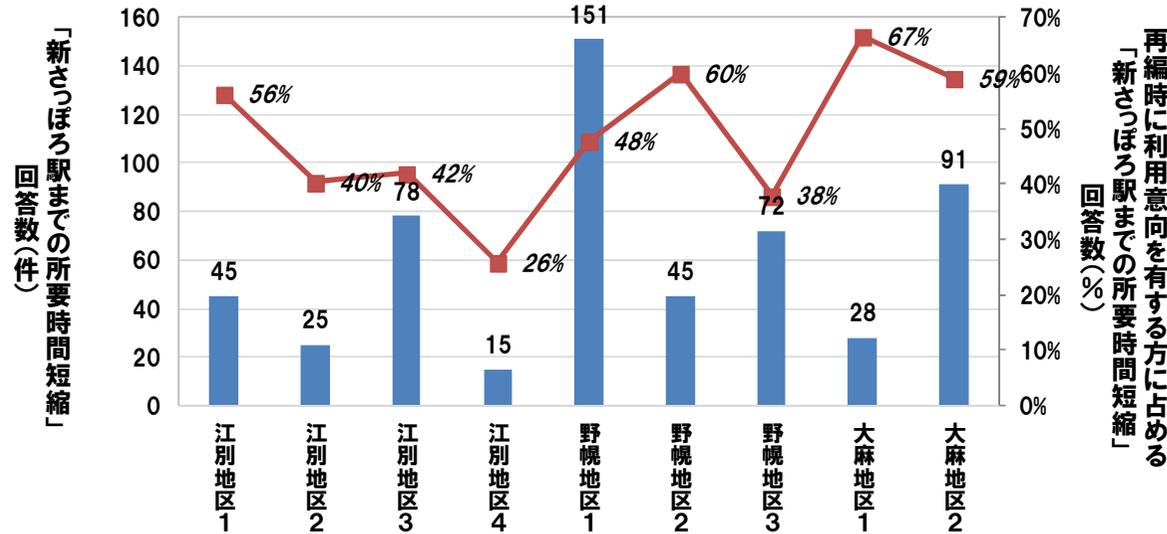


再編された場合の望ましい路線を「新さっほろ駅までの所要時間が短縮された路線」と回答された方

路線バスが再編された場合の利用意向(H26・H28調査結果より)

再編された場合の望ましい路線を「新さっぽろ駅までの所要時間が短縮された路線」と回答された方

居住地



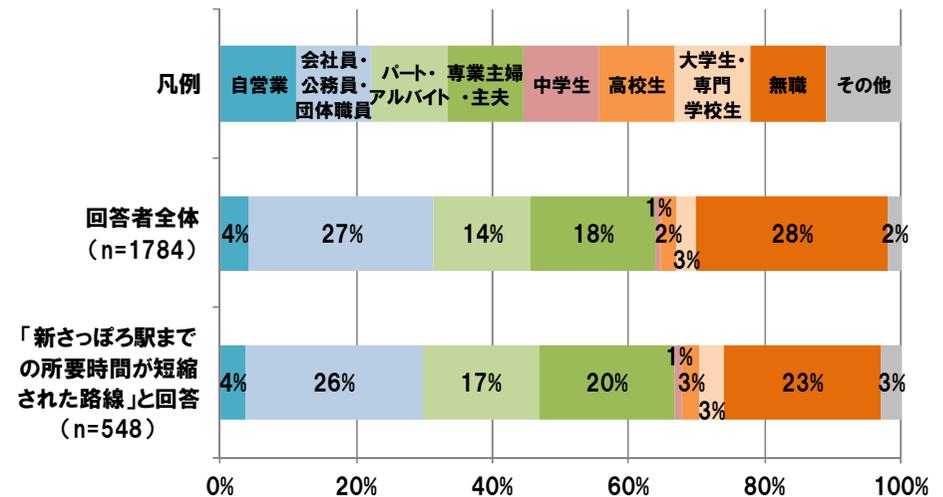
※その他・不明を除く

年齢

職業・就業の状況



※その他・不明を除く

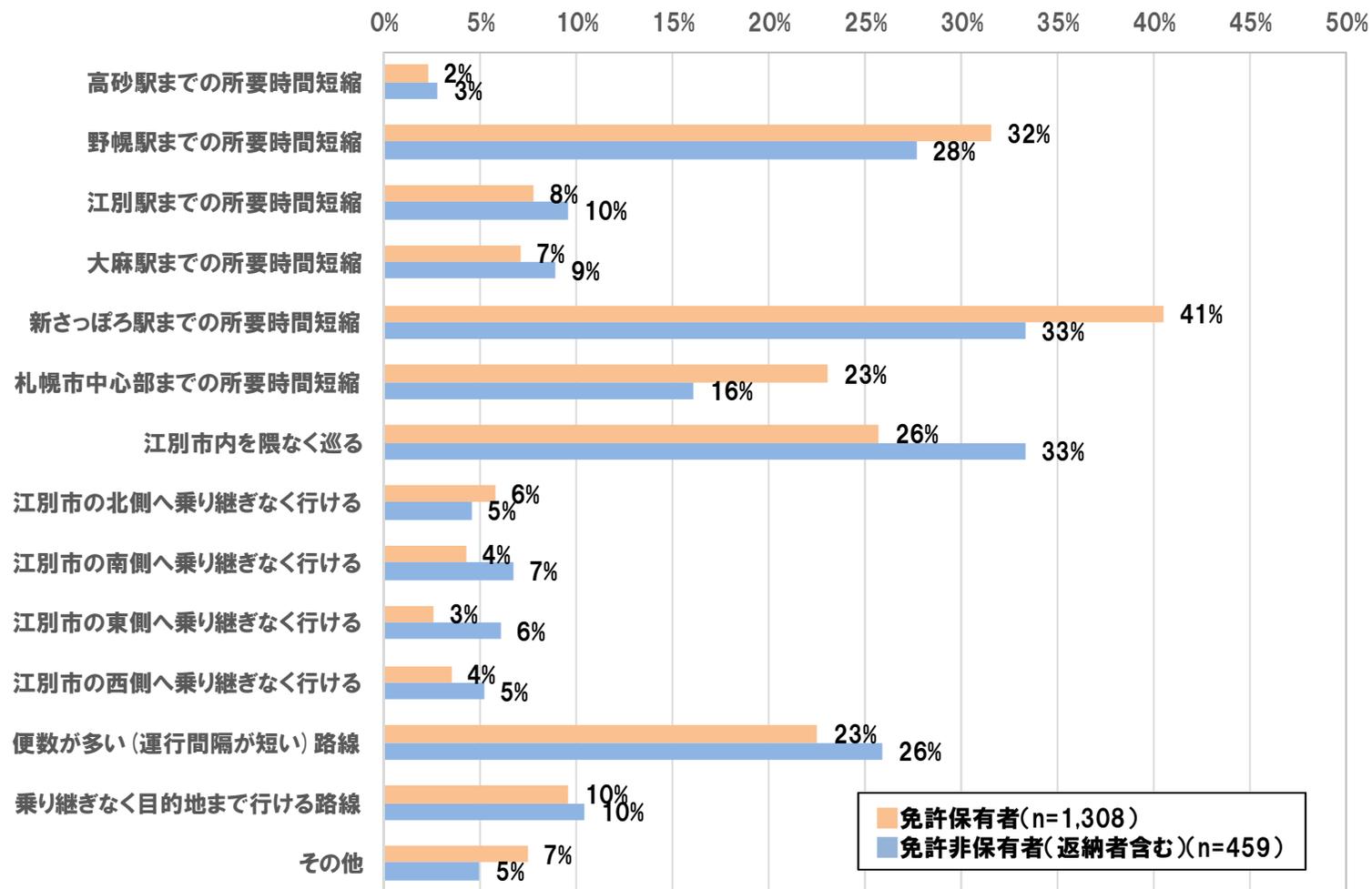


※その他・不明を除く

運転免許保有状況による利用意向

運転免許保有状況による利用意向

望ましい路線



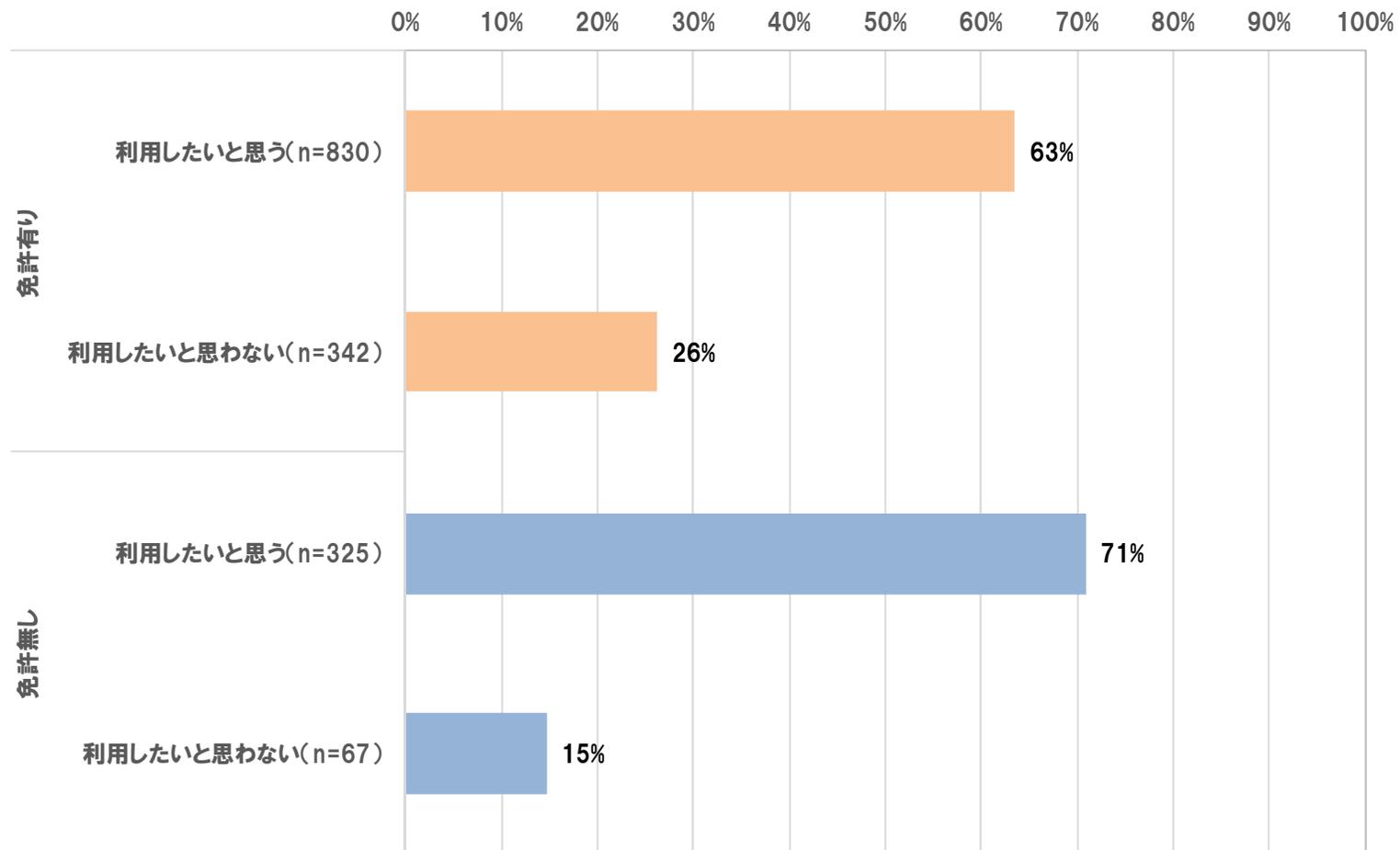
※その他・不明を除く

路線バスが再編された場合の利用意向(H26・H28調査結果より)

37

運転免許保有状況による利用意向

再編後の利用意向

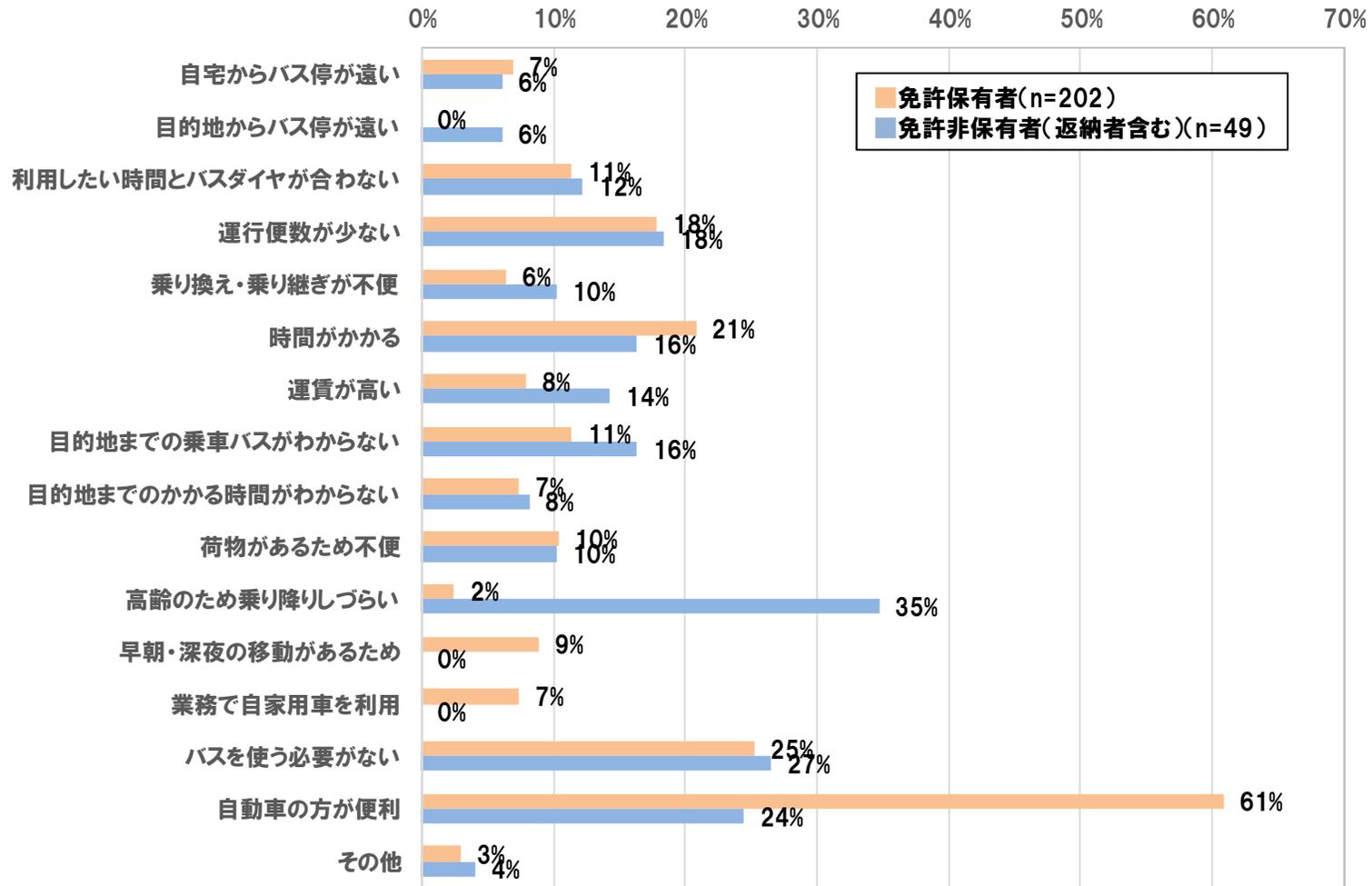


※その他・不明を除く

路線バスが再編された場合の利用意向(H28調査結果より)

運転免許保有状況による利用意向

路線バスが再編されても、バスを利用したいと思わない理由



※その他・不明を除く
※野幌地区3は、H28では対象外

- 再編された場合の望ましい路線を「新さっぽろ駅までの所要時間が短縮された路線」と回答
 - ・居住地では、野幌地区1での回答が多くなっているが、利用意向を有する回答者に占める「新さっぽろ駅までの所要時間が短縮された路線」の回答割合は、江別地区1、野幌地区2、大麻地区1、大麻地区2で半数を超えている。
- 路線バスが再編された場合に行きたい場所を「新さっぽろ」と回答した方
 - ・居住地では、大麻地区2での回答が多くなっているが、利用意向を有する回答者に占める「新さっぽろ」の回答割合は、大麻地区1が約29%と最も高い。
 - ・年齢では、大きな差は見られなかったが、職業・就業の状況では、「専業主婦・主夫」の割合が全体よりも約9%高くなっており、「無職」の割合が約11%低くなっている。
- 運転免許保有状況による利用意向
 - ・再編された場合の望ましい路線では、免許の保有状況によって「新さっぽろ駅までの所要時間が短縮された路線」、「札幌市中心部までの所要時間が短縮された路線」及び「江別市内の商業施設や医療施設、公的施設を隈なく巡る路線」において、最大7~8%程度の差が見られるが、全体の傾向に大きな差は見られない。
 - ・再編後の路線バスの利用意向は、運転免許の保有に関わらず、「利用したいと思う」との回答の割合が高くなっている。また、運転免許非保有者の方が、1割程度ではあるが、「利用したいと思う」と回答した割合が高く、「利用したいと思わない」と回答した割合が低くなっている。
 - ・利用したいと思わない理由では、運転免許保有者において「自動車の方が便利」との回答の割合が最も高くなっている。
 - ・同じく運転免許非保有者において、「高齢のため乗り降りしづらい」との回答が最も高くなっている。